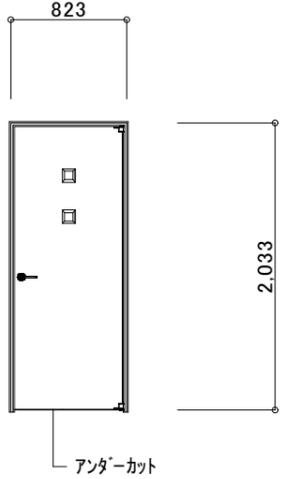
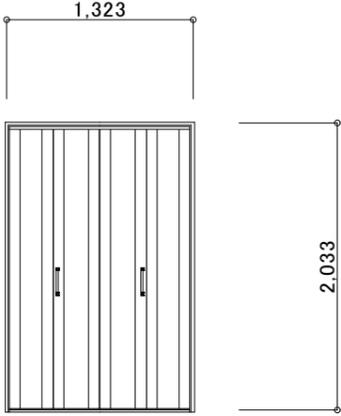
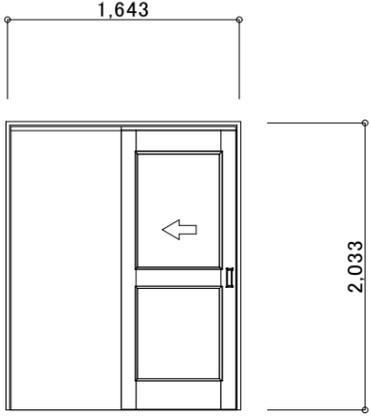
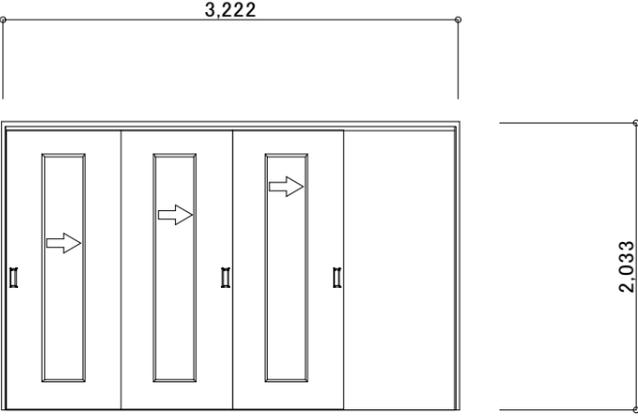
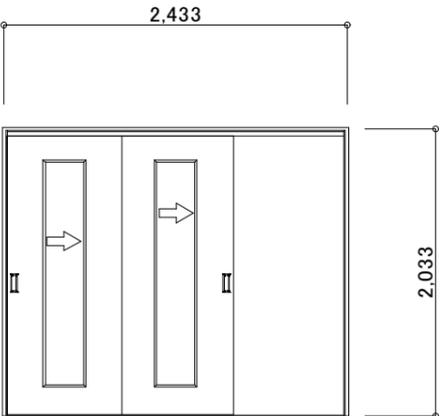
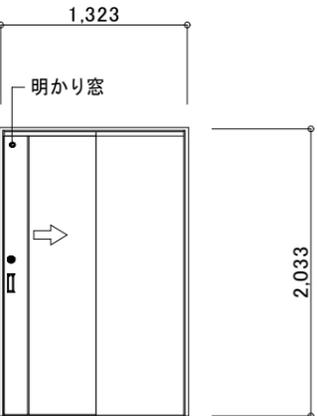
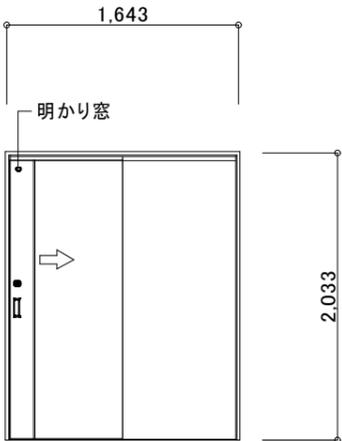
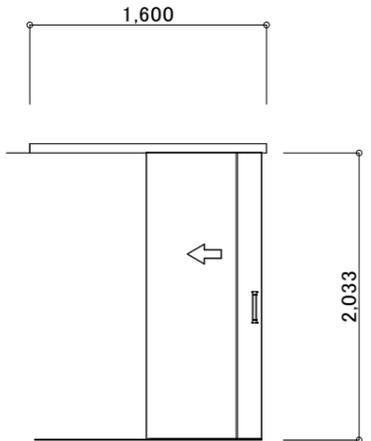


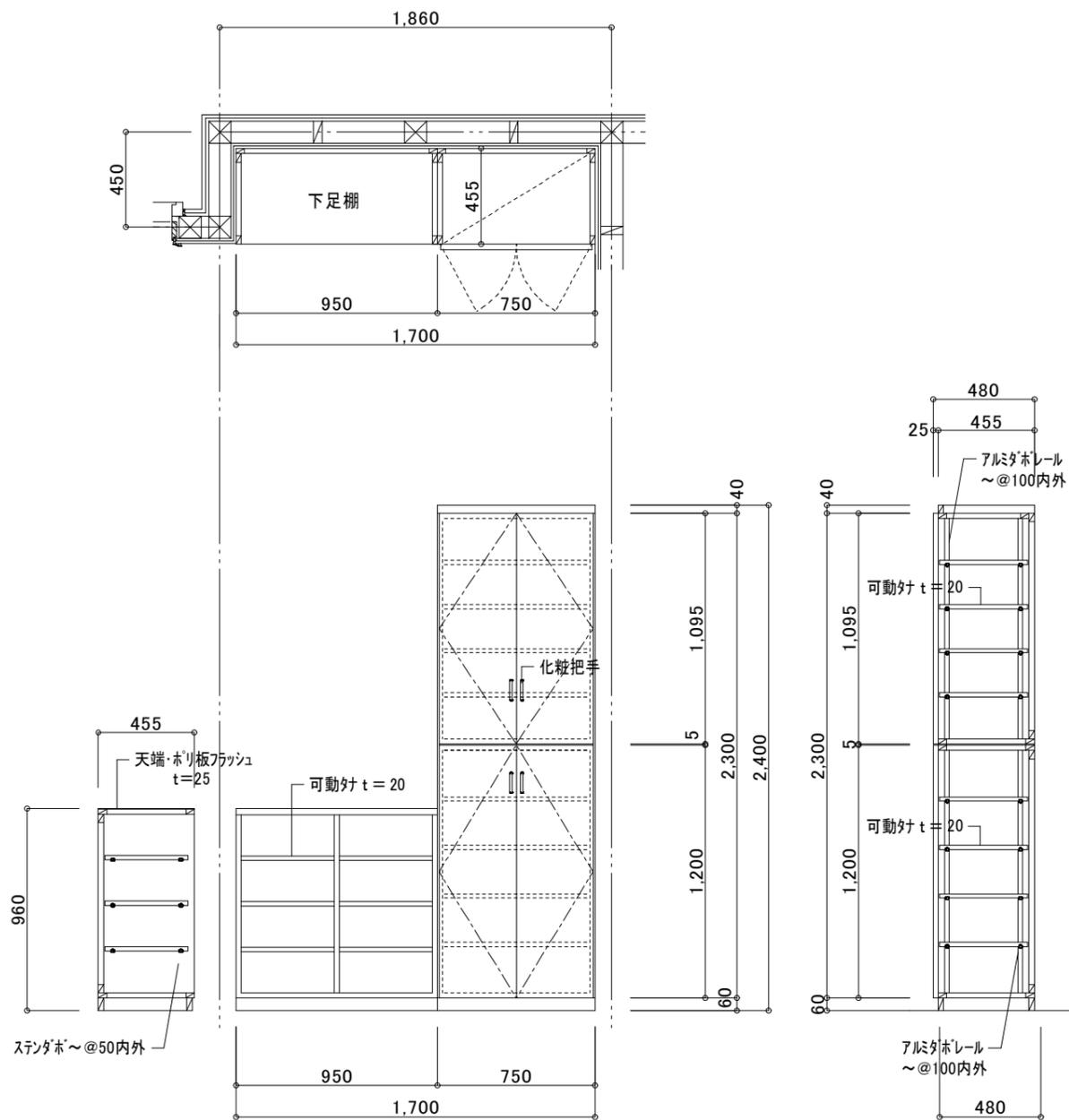
建具記号・型式	⑥ WD 木製片開きドア	⑦ WD 木製加セットドア：折戸タイプ	① WW 木製片引き戸	② WW 木製片引き戸（3枚建て）
形状 寸法				
数量	6	6	1	1
仕上	オフィン化粧シート(カラー:打合せによる)	オフィン化粧シート(カラー:打合せによる)	オフィン化粧シート(カラー:打合せによる)	オフィン化粧シート(カラー:打合せによる)
硝子	2mm樹脂板			4mm樹脂板
附属金物	丸座ハンドル、空錠、埋込沓摺(アルミ)、ストッパー他、金物一式	ハンドル引手、直付下枠(アルミ)他、標準金物一式	化粧引手、シングル錠、ラウンドレール/埋込沓摺(アルミ)他、一式	化粧引手、空錠、ラウンドレール/埋込敷居(アルミ)他、一式
備考	YKK ラフォーレスタ片開きドア TT ケーシングタイプ 同等品	YKK ラフォーレスタ両開き戸 JA ケーシングタイプ 同等品	YKK ラフォーレスタ片引き戸 B20 ケーシングタイプ 同等品	YKK ラフォーレスタ片引き戸 YG1 ケーシングタイプ 同等品
建具記号・型式	③ WW 木製片引き戸（2枚建て）	④ WW 木製トイレ片引き戸	⑤ WW 木製片引き戸	⑥ WW 木製片引き戸・アウトセット
形状 寸法				
数量	1	1	2	1
仕上	オフィン化粧シート(カラー:打合せによる)	オフィン化粧シート(カラー:打合せによる)	オフィン化粧シート(カラー:打合せによる)	オフィン化粧シート(カラー:打合せによる)
硝子	4mm樹脂板	2mm樹脂板	2mm樹脂板	
附属金物	化粧引手、空錠、ラウンドレール/埋込敷居(アルミ)他、一式	化粧引手、表示錠、ラウンドレール/埋込沓摺(アルミ)他、一式	化粧引手、表示錠、ラウンドレール/埋込沓摺(アルミ)他、一式	化粧引手、表示錠、マグネットガイドピン他、一式
備考	YKK ラフォーレスタ片引き戸 YG1 ケーシングタイプ 同等品	YKK ラフォーレスタ片引き戸ドア TC ケーシングタイプ 同等品	YKK ラフォーレスタ片引き戸 TC ケーシングタイプ 同等品	YKK ラフォーレスタ片引き戸 TC アウトセット仕様同等品
	(株) 那須設計 代表取締役 那須 裕子 宮崎市松橋 1-8-1 TEL 0985 (22) 3111	一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 L-65 号 管理建築士 一級建築士登録 厨子 幸治 第 298693 号 設計者 一級建築士登録 厨子 幸治 第 298693 号	管理建築士 管理技術者 設計者 工事名称 青島学園地域小規模児童養護施設新築工事 図面名称 建具表 3-3	設計年月 令和7年4月 縮尺 1/50 検図 図面番号 A-26

<造り付け家具工事 共通事項>

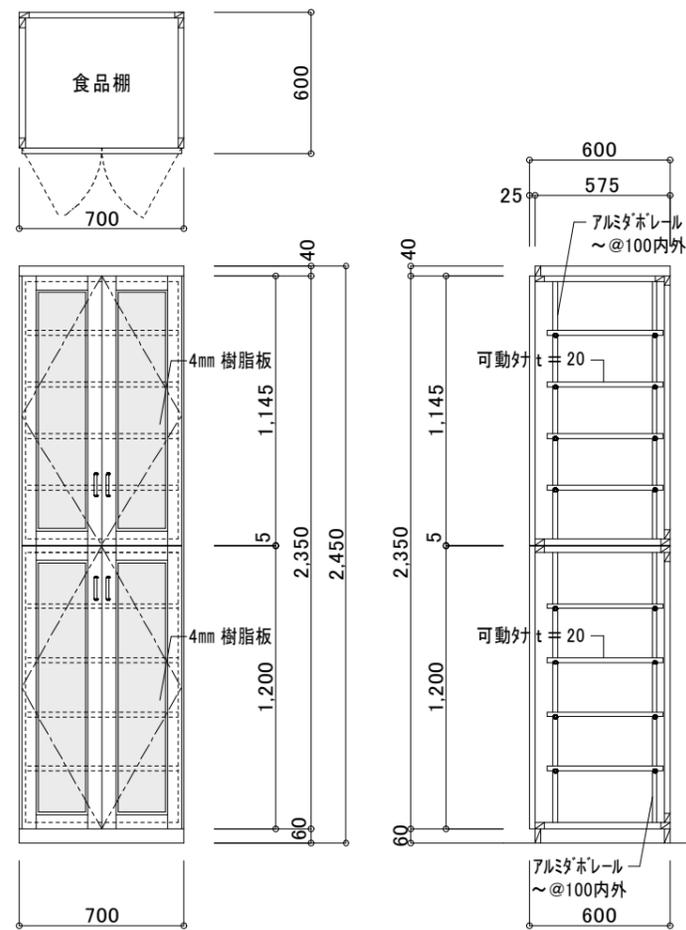
1. 確認事項

- ・ 基準材: ポリ化粧合板フラッシュ t = 25
- ・ 表面材の確認: ポリ化粧合板.....木目調ポリ板
- ・ 各家具形状・寸法・高さ
- ・ ダボピッチの確認
- ・ 設錠の有無
- ・ 家具設置廻り壁: 12mm構造用合板下地

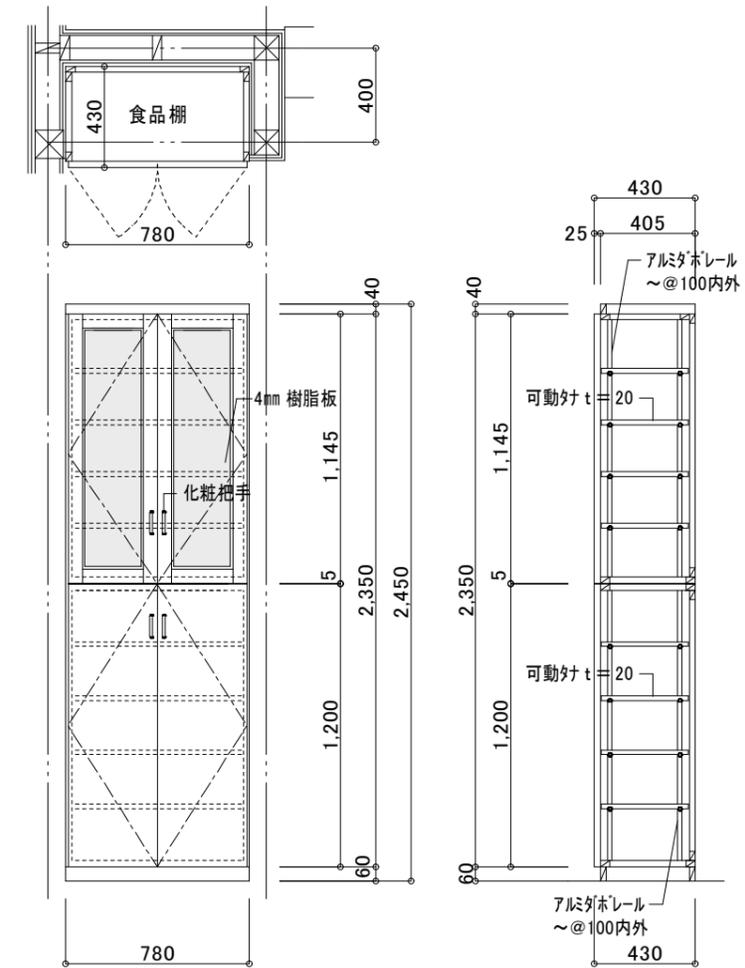
※ 玄関ホール: 下足棚 (1ヶ処)



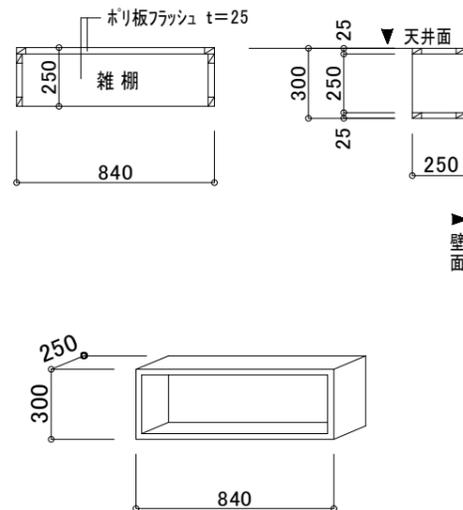
※ キッチン: 食品棚 (1ヶ処)



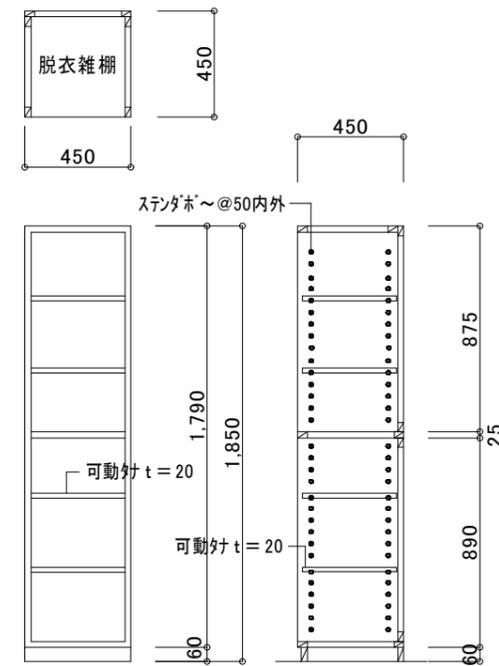
※ ダイニング: 食品棚 (1ヶ処)



※ 1・2階 WC: 雑棚 (2ヶ処)



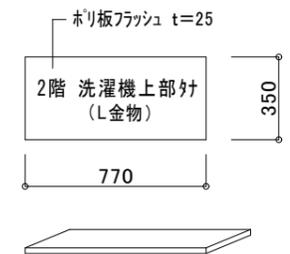
※ 1階 脱衣室: 雑棚 (1ヶ処)



※ 1階 洗濯室: 雑棚 (1ヶ処)



※ 2階 洗濯室: 雑棚 (1ヶ処)



(株) 那須設計

代表取締役 那須 裕子
宮崎市松橋 1-8-1 TEL 0985 (22) 3111

一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 L-65 号
管理建築士 一級建築士登録 厨子 幸治 第 298693 号
設計者 一級建築士登録 厨子 幸治 第 298693 号

管理建築士 管理技術者

設計者

工事名称 青島学園地域小規模児童養護施設新築工事

図面名称 家具詳細図

設計年月 令和7年4月

縮尺 1/30

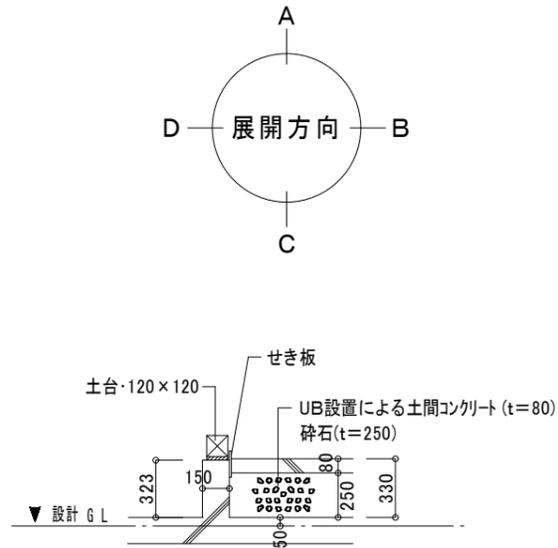
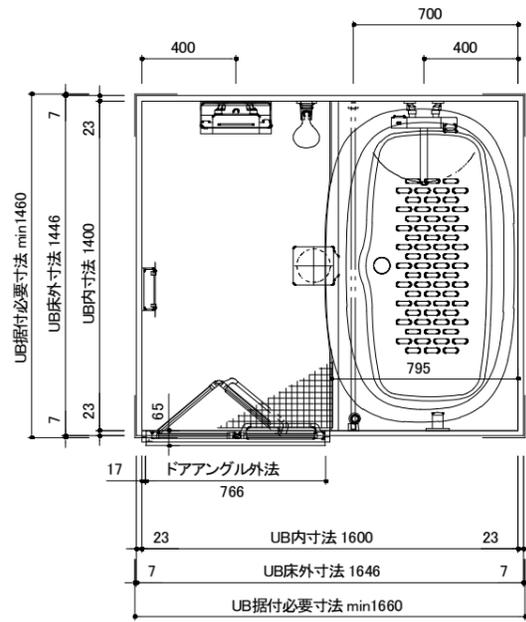
検図

図面番号

A-27

■ システムバスルーム仕様 (LIXIL 製品同等)

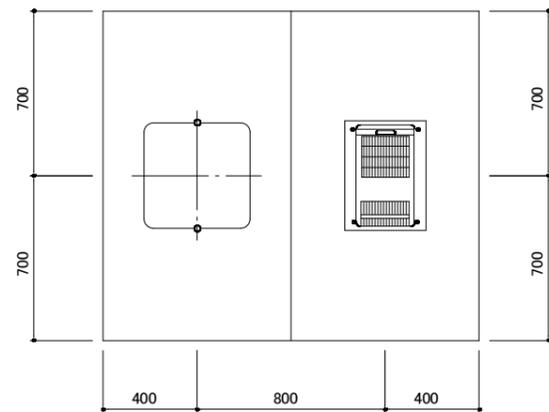
■ システムバス仕様	BKW-1416LBF-C+HLR
床	: キレイサーモフロア、くるりんポイ排水口
浴槽	: TR ミナモ浴槽、サーモバス、プッシュワンウェイ排水栓
フタ	: 薄型保温2枚組みフタ、マグネット組みフタフック
壁	: ハイクラスパネル、一面・アクセントパネル
	丸洗いカウンター、マグネットW 300タナ 2ヶ処、マルチバー180 1ヶ処
	マグネットミラー: KGM-2858M、窓額縁
天井	: 換気乾燥暖房機 UFD-112A、スリムレクタ照明
扉	: 折れ戸



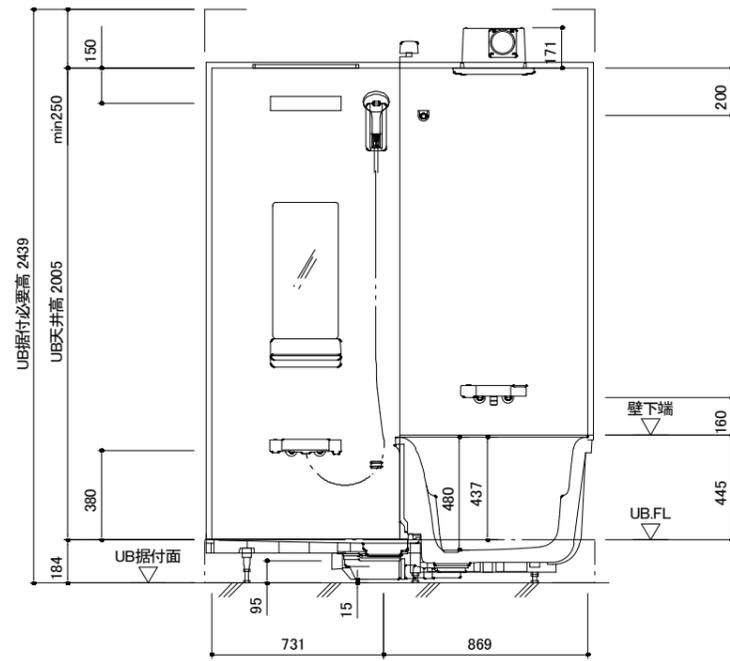
※ ユニットバス設置土間部分詳細

※ UB据付高調整範囲 174~224mm (据付面~UB.FL)

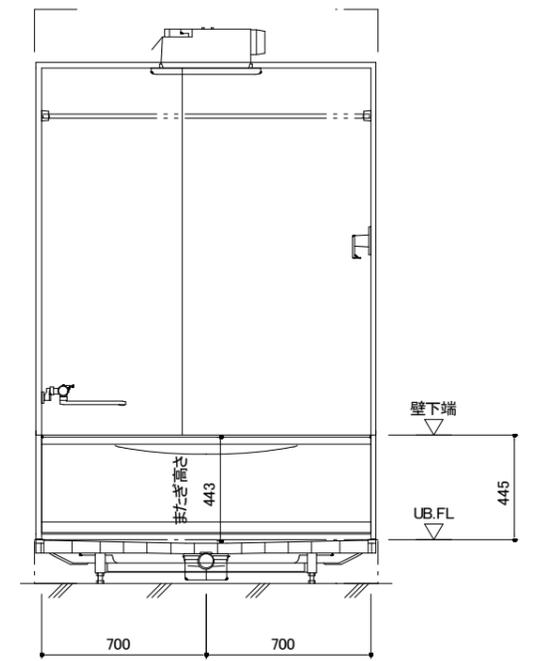
天井伏図



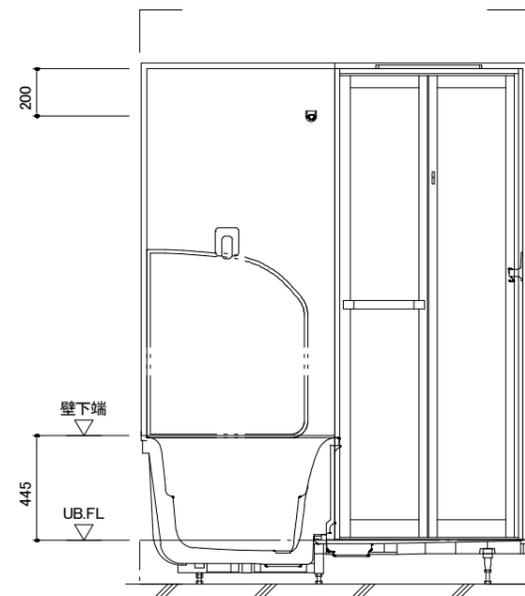
A 面



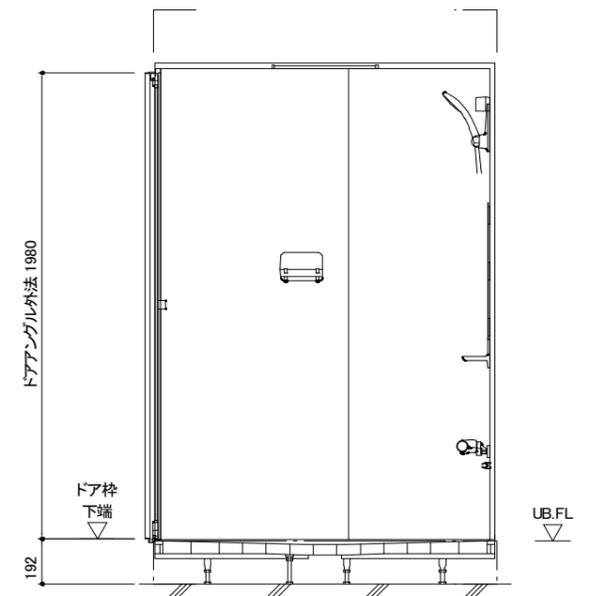
B 面



C 面



D 面



(株) 那須設計

代表取締役 那須 裕子
 宮崎市松橋 1-8-1 TEL 0985 (22) 3111

一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 L-65 号
 管理建築士 一級建築士登録 厨子 幸治 第 298693 号
 設計者 一級建築士登録 厨子 幸治 第 298693 号

管理建築士
 管理技術者
 設計者

工事名称 青島学園地域小規模児童養護施設新築工事

図面名称 ユニット参考図 2-1 (ユニットバス)

設計年月 令和7年4月

縮尺 1/30

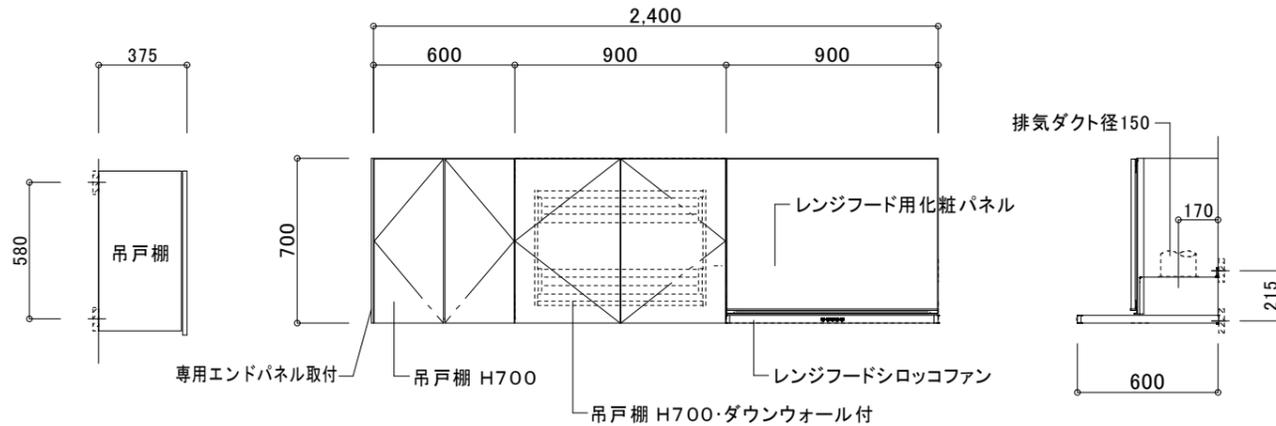
検図

図面番号

A-28

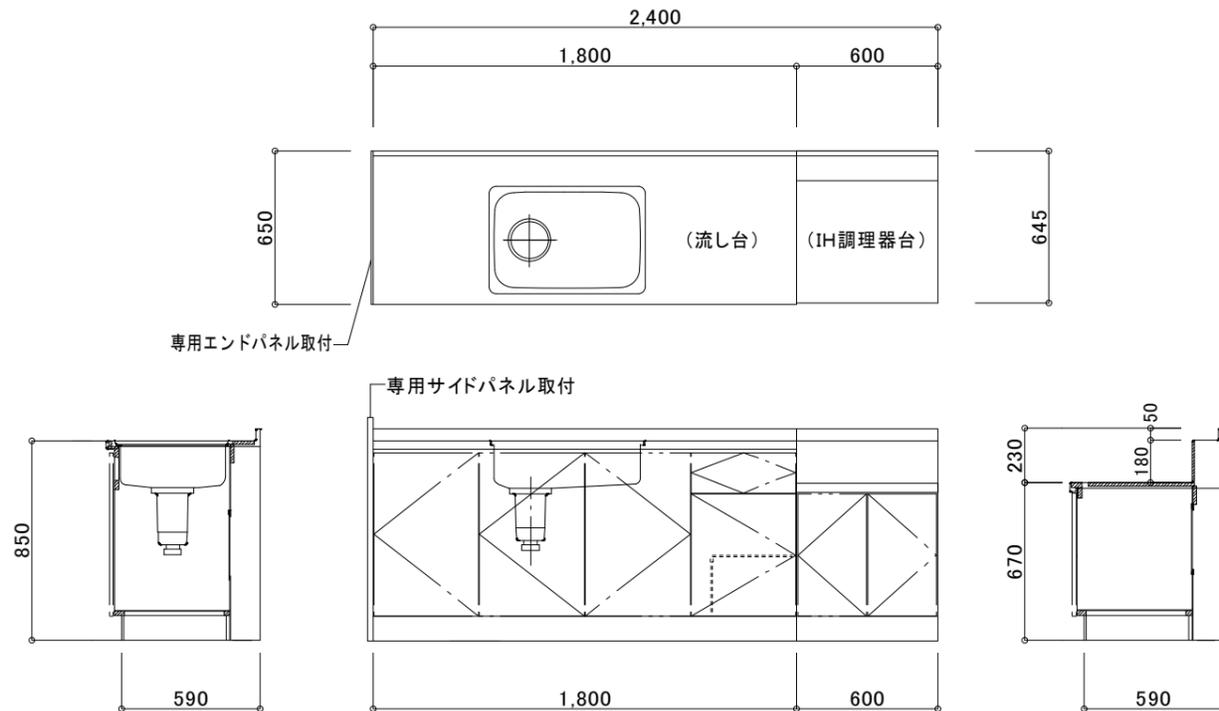
■ 吊戸棚仕様 (LIXIL製品同等)

吊戸棚 H 700	T3ZWA6Q090WJ1/L	開き扉・ダウンウォール付
吊戸棚 H 700	T3ZWA6Q060WJ1/L	開き扉・中棚
B39/ASRシロッコファン	ASR934SIRT	W900・シルバー・右勝手・3芯、オイルフィルター他、一式
レンジフード用化粧パネル	TR090X066ASWJ1/	金具シルバー



■ 流し台・コンロ台仕様 (LIXIL製品同等)

シリーズ: KA-1		シリーズ: KA-1	
製品名	K●SH180◆N#L GKF・GKW キャビネット 標準仕様 底板 ステンレス貼り仕様	製品名	K●KH060◆N#N GKF・GKW コンロ台 ガス栓穴なし 底板 ステンレス貼り仕様

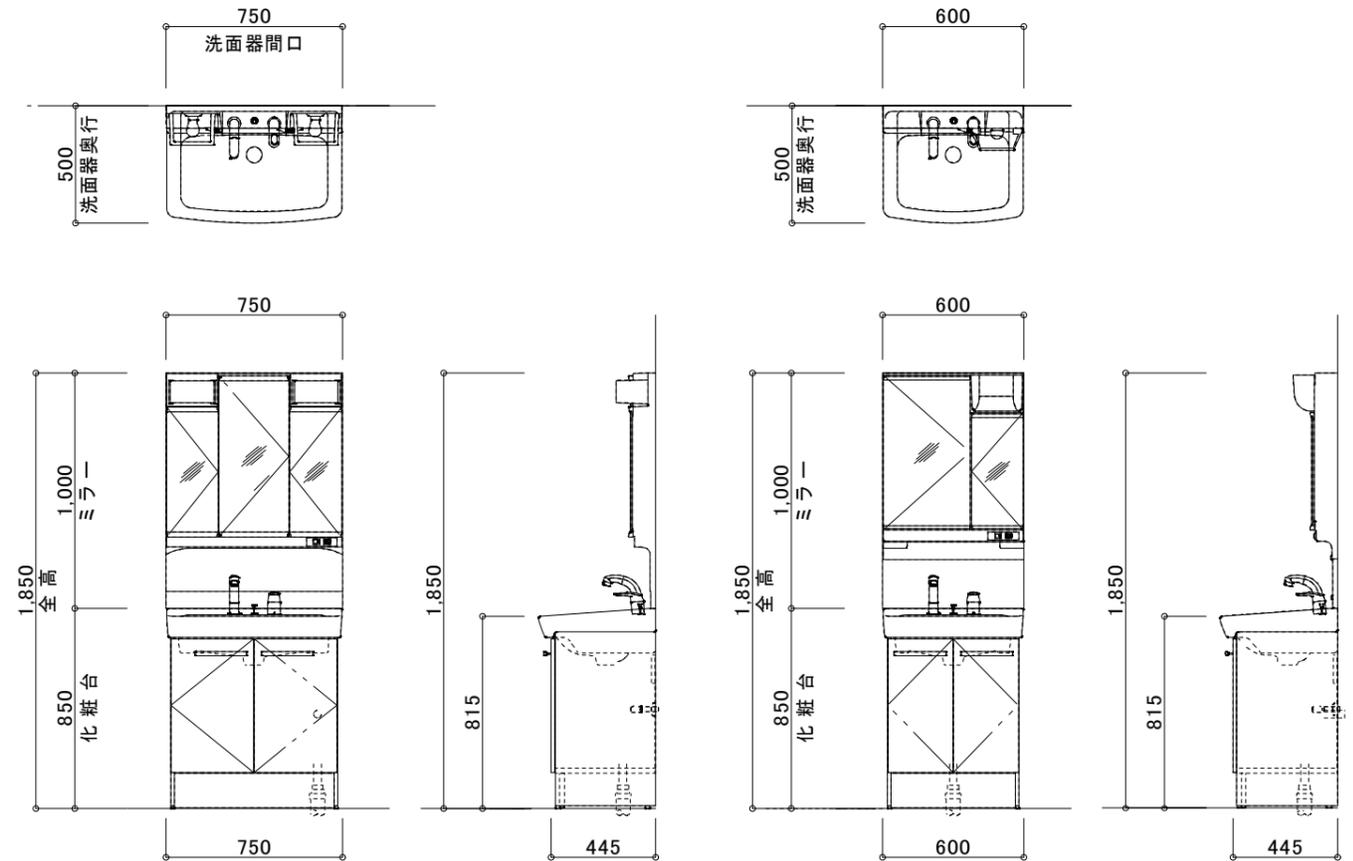


■ 洗面化粧台仕様 (LIXIL製品同等)・1階:脱衣室・2階:洗濯室

■化粧台本体仕様	FTV2N-755SY-W/LM2W
扉カラー:	LM2 クリエモカ 材質:オレフィン化粧板
洗面器カラー:	W ピュアホワイト(BW1)
水栓金具:	シングルレバー 洗髪シャワー水栓(エコハンドル仕様)
排水器具:	プッシュワンウェイ式排水栓(ラクとれヘアキャッチャー・ヘアキャッチャー付・フタ着脱式)
排水トラップ:	床排水・壁排水兼用トラップ(直管・呼び径32mm)
■ミラーキャビネット仕様 MFTV2-753TXJU	
照明(定格消費電力):	電球形LED照明40W形×2灯(8.4W)
くもり止めコート仕様(中央鏡)・トレイ個付	
コンセント1個 コンセント許容電力1300W以下	

■ 洗面化粧台仕様 (LIXIL製品同等)・1階:廊下

■化粧台本体仕様	FTV2N-605SY-W/LM2W
扉カラー:	LM2 クリエモカ 材質:オレフィン化粧板
洗面器カラー:	W ピュアホワイト(BW1)
水栓金具:	シングルレバー 洗髪シャワー水栓(エコハンドル仕様)
排水器具:	プッシュワンウェイ式排水栓(ラクとれヘアキャッチャー・ヘアキャッチャー付・フタ着脱式)
排水トラップ:	床排水・壁排水兼用トラップ(直管・呼び径32mm)
■ミラーキャビネット仕様 MAJX2-602TZJU-T	
照明(定格消費電力):	電球形LED照明40W形×1灯(4.2W)
くもり止めコート仕様(左鏡)・トレイ5個付	
コンセント2個(外付1個・内部1個) コンセント許容電力合計1300W以下(内部コンセント含む)	



木質工事特記仕様書（1）

<p>1. 木材の加工</p> <p>(1) 刻み時の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 製材に背割りのある場合、曲げ材は断面の弱軸と背割りの方向を一致させる。 <p>(2) 加工寸法の精度（下記の値を標準とする）</p> <ul style="list-style-type: none"> 構造用製材、枠組み壁工法用構造製材の断面寸法 <ul style="list-style-type: none"> ■ 図面表示が挽き立て寸法の場合： ±1.5mm以下 ■ 図面表示が仕上がり寸法の場合： +1.5mm、−0mm以下 構造用製材、枠組み壁工法用構造製材の材長 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 軸組工法の継手仕口の場合： ±1.5mm以下 <input type="checkbox"/> ボルト接合法の場合： ±5mm以下 集成材、構造用単板積層材 <ul style="list-style-type: none"> 短辺：<input type="checkbox"/> ±1.5mm 長辺：<input type="checkbox"/> ±1.5%かつ±5mm以下 材長：<input type="checkbox"/> ±5mm以下 <input type="checkbox"/>（<input type="checkbox"/>） ボルト穴径：d+2.0mm（dはボルト径） ドリフトピンの穴径：d±0mm（dはボルト径） <p>(3) 表面仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■製材 化粧材：A種 野物材：<input type="checkbox"/> 板材：<input type="checkbox"/> <p>(4) 面取り</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>柱：（<input type="checkbox"/>）mm <input type="checkbox"/>梁：（<input type="checkbox"/>）mm 	<p>(4) ボルト接合</p> <ul style="list-style-type: none"> 締め付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適しているものであることを確認する。 ボルト接合部付近に節・目切れなどの欠点がある場合は、ボルト本数を適切に増加する。 ボルトの締め付けは、座金が部材にめり込む程度とし、めり込み音が発生した時点で締め付けを完了する。 締め付けを完了したボルトは、ねじ部がナットから2山以上突き出ていることを確認する。 一度締め付けたボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。 <p>(5) コーチスクリュー接合</p> <ul style="list-style-type: none"> 構造耐力上主要な部分において、コーチスクリューを引き抜き方向に抵抗させることは避ける。 コーチスクリューの配置間隔、縁距離および端距離、使用する座金は同じ胴部径のボルトに準ずる。 胴部の先孔の径は胴部と同径とし、長さも胴部と同寸とする。 ネジ部の先孔の径：比重0.4以上の樹種・・・ネジ径の ~ % 60 70 その他の樹種・・・・・・・ネジ径の ~ % 40 70 (長さはネジ部の長さと同寸とする。) コーチスクリューは先孔にレンチなどで回しながら挿入し、ハンマーなどで打ち込んではいない。 ねじ込みを容易にするためや、損傷させないために潤滑油を用いてもよい。 <p>(6) ドリフトピン接合</p> <ul style="list-style-type: none"> ボルトやコーチスクリュー等と併用し、ドリフトピンの変形にともなう部材の開きを防止する。 ドリフトピンは孔に密着させる。 一度締め付けた併用ボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。 	<p>(3) 建方計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 建方計画書の提出 アンカーボルトの施工方法、建方スペース、建方機械、搬入・仕分け、地組み、足場計画、建方、養生、安全対策などについて検討し、建方計画書としてまとめる。 <p>(4) 施工時の安全性</p> <ul style="list-style-type: none"> 建方作業中および作業後、横架材上に諸材料または機械などの重量物を積載する場合、あるいは柱に大きな引張力を与えるなどの場合は監視者の承諾を受ける。また、強風などによる諸外力に対しては、必要に応じて仮設補強等の処置を施す。 <input type="checkbox"/> 施工時の安全性に対する検討書の提出 <input type="checkbox"/> 施工時荷重条件の通知 <p>(5) アンカーボルトの施工</p> <ul style="list-style-type: none"> 芯出しは、型板を用いて基準墨に正しく合せて適切な機器等で正確に行う。 アンカーボルトは鉄筋等を用いて組立て、適切な補助材で固定しコンクリートの打ち込みを行う。 アンカーボルトはダブルナットとする。 <input type="checkbox"/>適用除外〔<input type="checkbox"/>〕 土台の穴あけはコンクリート打設後、ボルトの通り芯からのずれを実測してから行う。 通り芯からの誤差：<input type="checkbox"/> ±3mm以下 <input type="checkbox"/>〔<input type="checkbox"/>〕 <p>(6) 建方精度</p> <ul style="list-style-type: none"> 建方の精度基準は下記による。 <input type="checkbox"/>建物の倒れ：<input type="checkbox"/> e≤H/2500+10mm かつ e≤50mm <input type="checkbox"/>〔<input type="checkbox"/>〕 <input type="checkbox"/>梁の水平度：<input type="checkbox"/> e≤L/700+5mm かつ e≤15mm (節点間のレベル差) <input type="checkbox"/>〔<input type="checkbox"/>〕 <input type="checkbox"/>建物のわん曲：<input type="checkbox"/> e≤L/2500mm かつ e≤25mm <input type="checkbox"/>〔<input type="checkbox"/>〕 <input type="checkbox"/>柱据え付け面の高さ及び位置 <ul style="list-style-type: none"> 柱据え付け面の基準高さからの誤差：<input type="checkbox"/> ±3mm以下 <input type="checkbox"/>〔<input type="checkbox"/>〕 通り芯からの誤差：<input type="checkbox"/> ±3mm以下 <input type="checkbox"/>〔<input type="checkbox"/>〕 階高：<input type="checkbox"/> −5mm≤ΔH≤+5mm <input type="checkbox"/>〔<input type="checkbox"/>〕 建方精度に不具合が発生した場合は速やかに監視者に報告し対応策を協議する。 <p>(7) 施工状況の検査</p> <ul style="list-style-type: none"> アンカーボルト施工時の立会い検査 <ul style="list-style-type: none"> ■ 目視による精度確認 <input type="checkbox"/> 計測機器による精度確認 ■ アンカーボルト径、間隔 ■ 施工者自主検査記録の提出〔<input type="checkbox"/>〕 地組み時の立会い検査 <ul style="list-style-type: none"> ■ 目視による精度確認 <input type="checkbox"/> 計測機器による精度確認 <input type="checkbox"/> 材料の加工寸法検査 ■ 施工者自主検査記録の提出〔<input type="checkbox"/>〕 建方時の立会い検査 <ul style="list-style-type: none"> ■ 目視による精度確認 <input type="checkbox"/> 計測機器による精度確認 <input type="checkbox"/> 材料の加工寸法検査 ■ 施工者自主検査記録の提出〔<input type="checkbox"/>〕 建方後の施工状況の検査 <ul style="list-style-type: none"> ■ 防腐・防蟻処理 <input type="checkbox"/> 材料の加工寸法検査 <input type="checkbox"/> ファスナーの施工状況 ■ 接合金物の施工状況 <input type="checkbox"/> その他〔<input type="checkbox"/>〕 ■ 施工者自主検査記録の提出〔<input type="checkbox"/>〕 最終確認 <ul style="list-style-type: none"> 工事中に発生するボルトの緩み、ファスナーおよび接合金物に影響する材の割れ、接着面のはがれ等に注意を払い、不具合が発生した場合は是正する。補強の必要がある場合は速やかに監視者に報告し対応策を協議する。 ■ 施工者自主検査記録の提出〔<input type="checkbox"/>〕
---	---	---

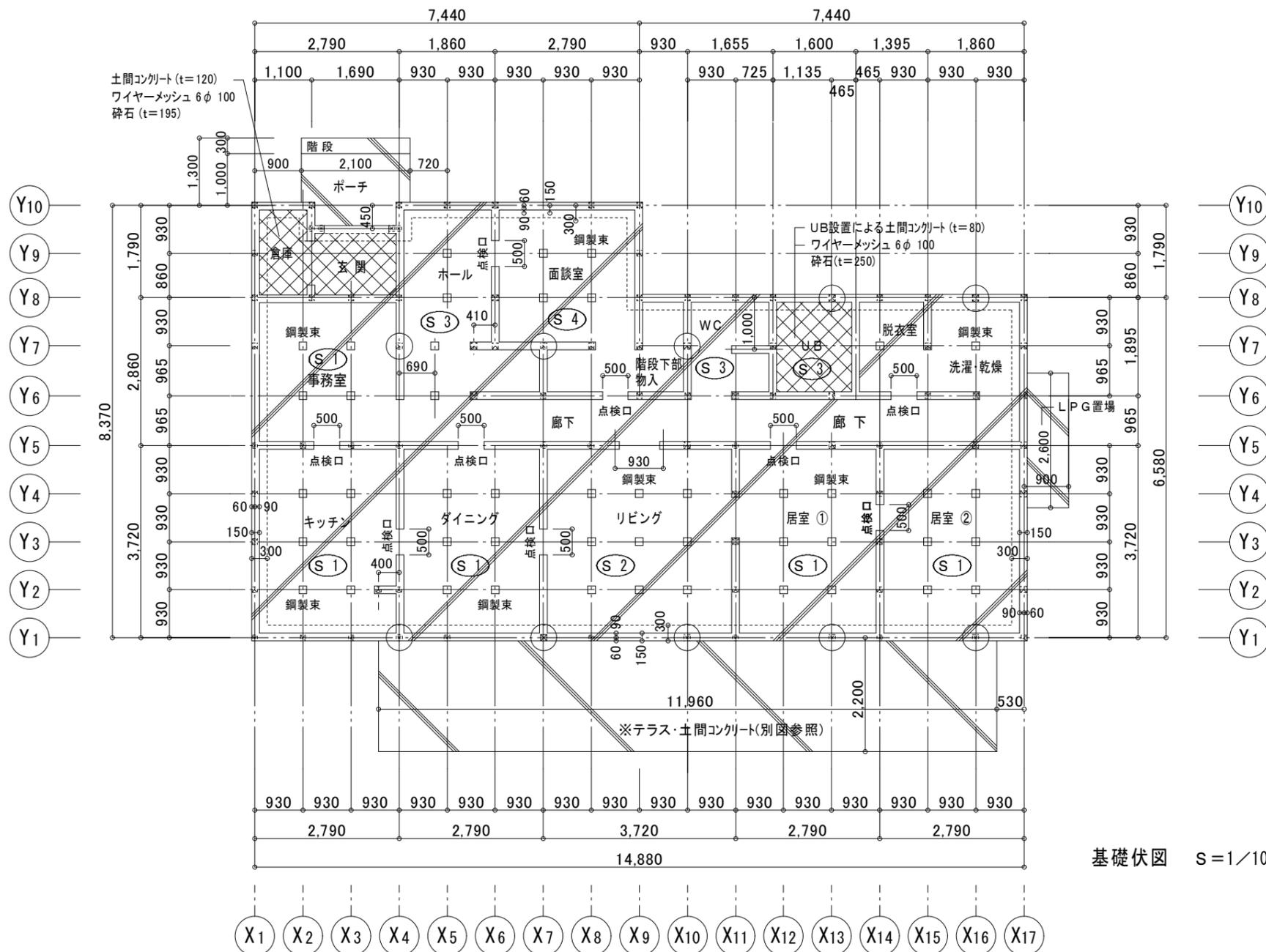
2. 接合

<p>(1) 仕口、継手の原則</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕口、継手の方法は構造図による。特記無き場合は 1. (3) 標準仕様書に示された在来工法用の一般的な適用慣例に従う。一般的な適用慣例については、9. 軸組構法接合部標準仕様による。 採用する方法は監視者の承諾を得る。 仕口、継手の各部に作用する応力を考慮し、部材の引き抜けが生じないように、原則として羽子板ボルトや木栓など、引張り抵抗をする補強部材を併用する。 <p>(2) 釘接合</p> <ul style="list-style-type: none"> 釘は材の繊維に対して乱に打ち、割れを生じないように端距離、縁距離、釘間隔を大きく取る。 釘の長さは材厚の2.5倍以上とする。 1ヶ所の釘の本数は2本以上とする。 釘に錆を生じるおそれのある場合は、適切な防錆処理を施す。 自動釘打ち機を使用する場合は、面材に釘がめり込まないようにする。そのために、釘打ち機の圧力を弱めるか、最後は手打ちを用いるなどの方法による。 構造用面材を耐力壁とする場合の釘打ち方法は「昭和5年建設省告示1110号」による。 構造耐力上主要な部分において、釘を引き抜き方向に抵抗させることは避ける。 小口面に打たれた釘は、引き抜き方向に抵抗させることはできない。 	<p>(7) ジベル接合</p> <ul style="list-style-type: none"> 木部材は接合部付近の割れ、節、目切れなどの欠点に注意し、膨込み・打ち込みまたは圧入に際して割れを生じないように、ジベルの種類に応じた断面と余長をもたせる。 接合材は十分圧着させる。木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。 <p>(8) 既成金物の接合</p> <ul style="list-style-type: none"> 羽子板ボルト、ひら金物、短冊金物、かね折り金物および箱金物などの取り付けは、それぞれの仕様に基づき、接合両材の間が密着するように締め付ける。 <p>(9) 接着接合</p> <ul style="list-style-type: none"> 接合部の耐力は、使用材料および使用方法に適した接着性能の試験を行い確認する。 接着剤を用いた接合を行う手順は、接着剤製造業者の推奨する接着仕様に従うとし、実験によって接合部に要求される耐力と耐久性が立証された場合はその際の作業条件を標準とする。 <p>(10) その他の方法による接合</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用材料および使用方法は構造図によるものとし、監視者の承諾を得る。
---	---

3. 運搬・建て方

<p>(1) 輸送計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 製品の輸送に当たっては、建方計画に支障がないように、道路状況、現場作業手順等を考慮し十分な検討を行う。また、輸送時に製品の品質を損なわないようにする。 <input type="checkbox"/> 輸送計画書の提出〔<input type="checkbox"/>〕 <p>(2) 集積・保管</p> <ul style="list-style-type: none"> 集積の際は適当な受け台などを設け、材にねじれや曲がりの損傷を与えないように注意する。降雪や降雨に対する保護としてシート養生を行う。ただし、エアコンの効いた室内は乾燥による割れが発生するため避ける。 <input type="checkbox"/> 集積場の確認〔<input type="checkbox"/>〕 		
---	--	--

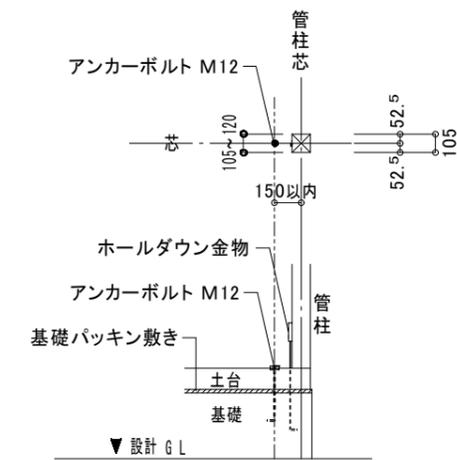
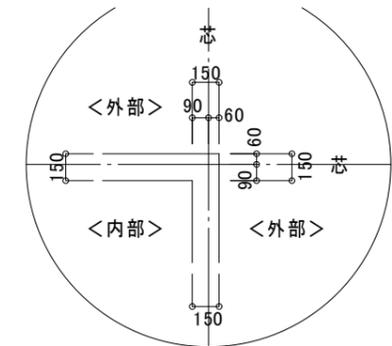
	<h3>(株) 那 須 設 計</h3> <p>代表取締役 那須 裕子 宮崎市松橋 1-8-1 TEL 0985 (22) 3111</p>	<p>一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 L-65 号 管理建築士 一級建築士登録 厨子 幸治 第 298693 号 設計者 一級建築士登録 厨子 幸治 第 298693 号</p>	管理建築士	管理技術者	設計者	工事名称	青島学園地域小規模児童養護施設新築工事	設計年月	令和7年4月	検 図	図面番号 A-30
						図面名称	木質工事特記仕様書 2-1	縮尺	N T S		



基礎伏図 S=1/100

符号	位置	底盤厚(ｽﾗﾌ)	底盤地上高さ	短辺(主筋)	長辺(配力筋)	備考
S1, S2		t = 150	H = 50	D13~@200	D13~@200	ｼﾝｸﾞﾙ配筋
S3, S4		t = 150	H = 50	D13~@200	D13~@200	ｼﾝｸﾞﾙ配筋

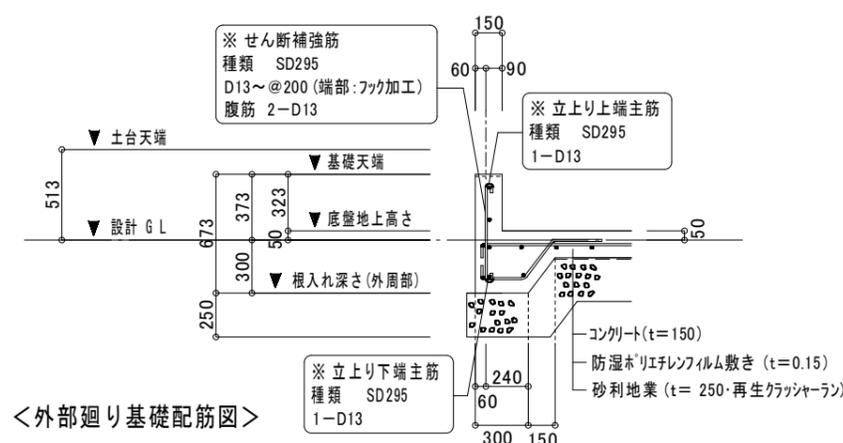
※ 外周部の基礎立上り芯割図



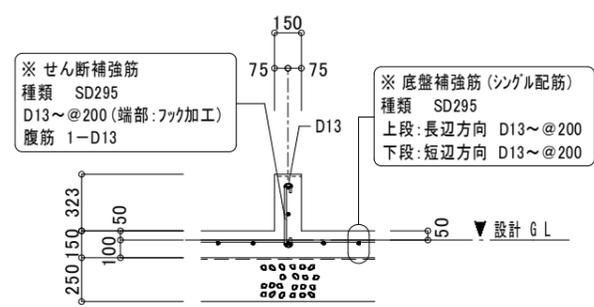
※ ホールダウン金物図

- 地盤調査・・・SWS試験調査(別紙報告書による)
- 支持地盤・・・砂質土 (GL-3.00)
- 基礎の種類・・・ベタ基礎 (根入れ:GL-3.00)
- 地盤の許容支持力・・・114.0 kN/m²

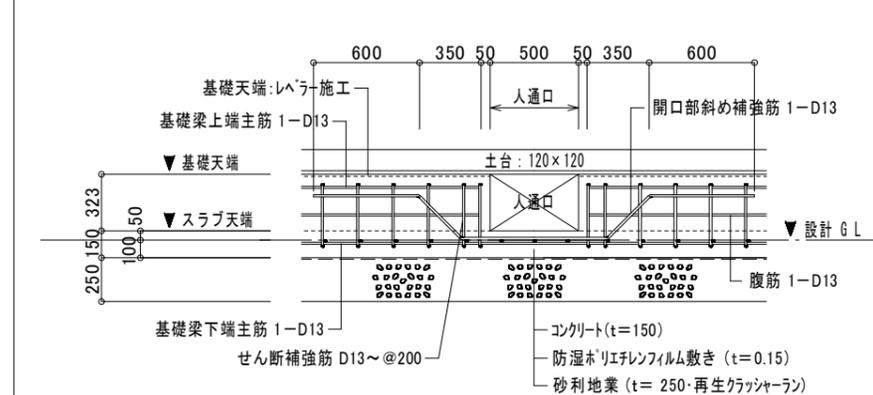
- 基礎コンクリート仕様
普通コンクリート $F_c = 21+3N/mm^2$
温度補正なし
スラブ: 18 cm
- 鉄筋工事・・・SD295A
- ABT: M12+座金 4×40×40・1.4φにより緊結
~@1.500以内又は土台継手
- ABT: L=450以上 (埋込み長さ: 250以上)



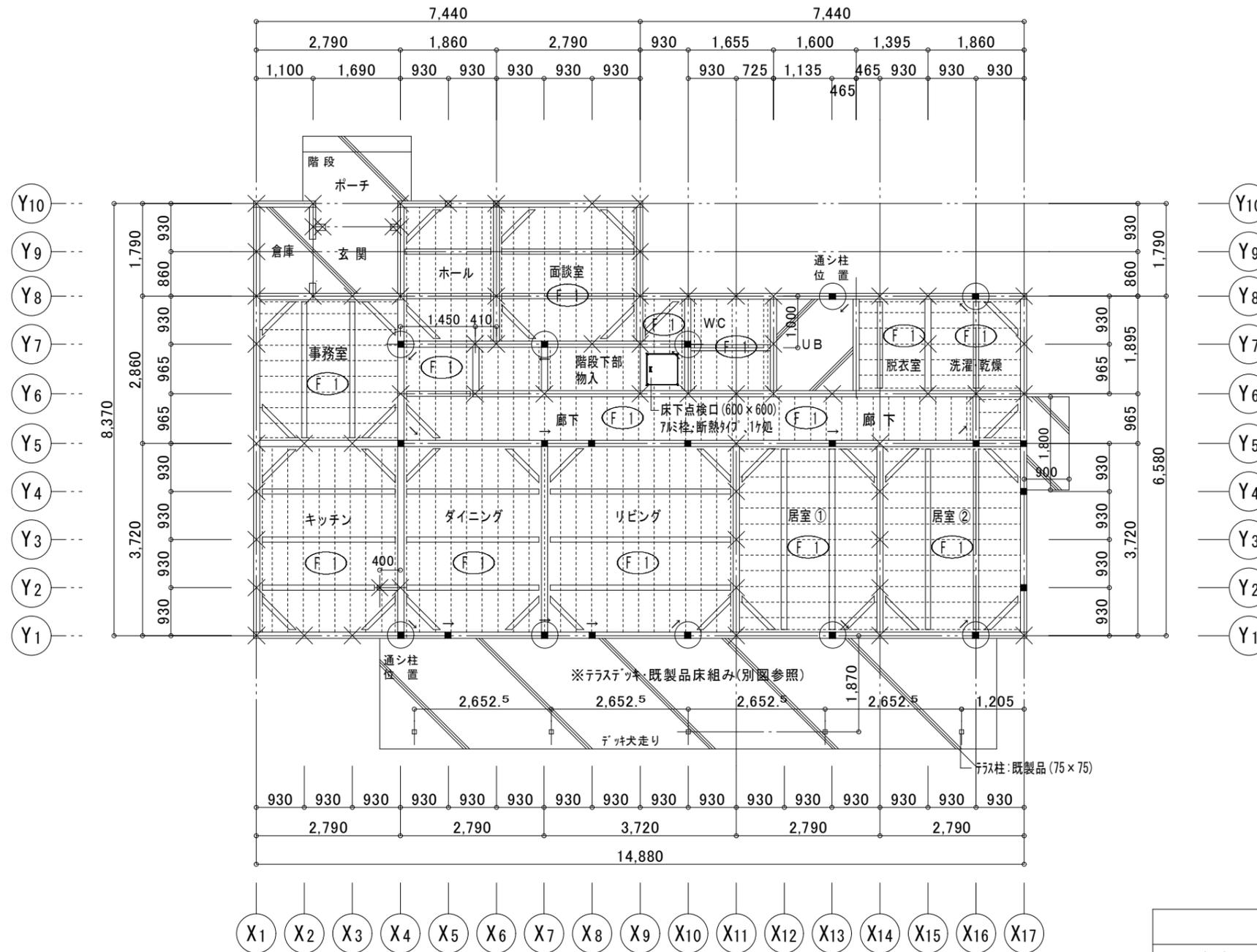
<外部廻り基礎配筋図>



<内部基礎立上り配筋図>



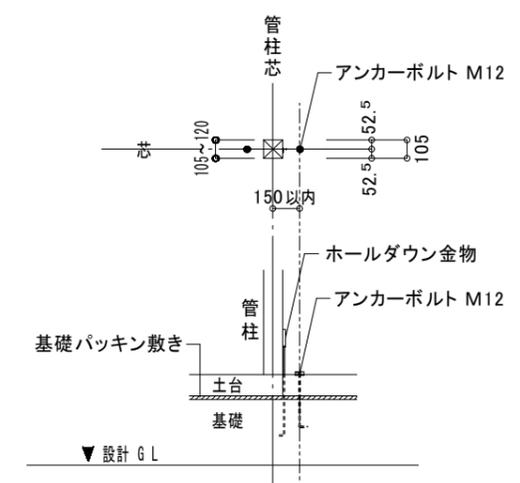
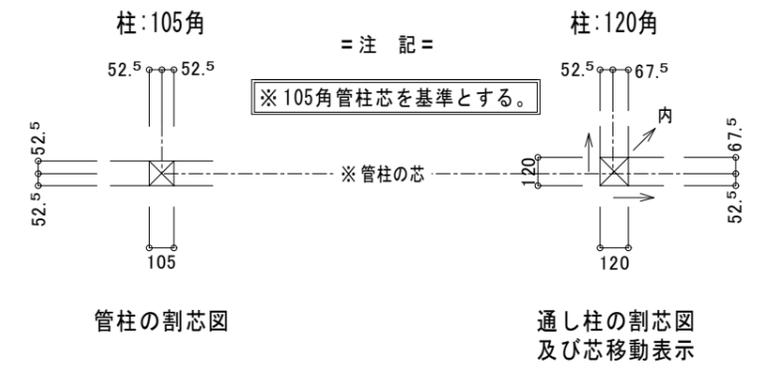
<基礎立上り人通口部斜補強筋詳細図>



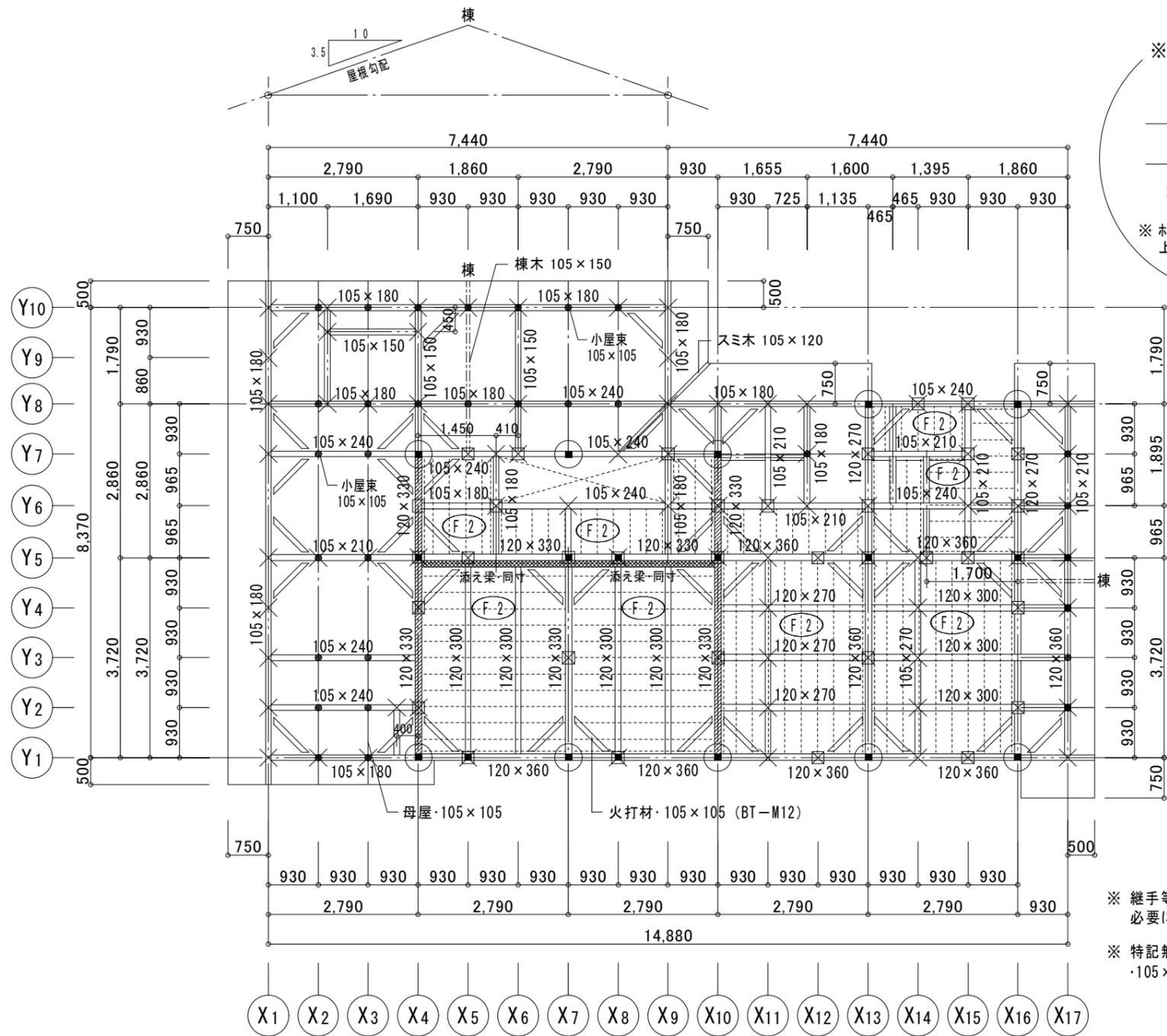
1階床伏図 S=1/100

※ 柱の必要小径の検討

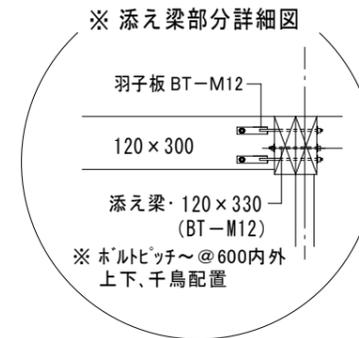
<input type="checkbox"/> 屋根の仕様・・・金属板葺き <input type="checkbox"/> 壁の仕様表・・・サイディング <input type="checkbox"/> 1階の階高・・・3.000 以下 <input type="checkbox"/> 2階の階高・・・2.900 以下 <input type="checkbox"/> 標準せん断力係数 C_o ・・・0.2 <input type="checkbox"/> 太陽光発電設備等・・・なし <input type="checkbox"/> 床面積比・・・62.95 / 110.46 = 0.57 <input type="checkbox"/> 柱の仕様・・・杉1等材	<input type="checkbox"/> 早見表 : 1階・1/27 105 以上 2階・1/31 90 以上 <input type="checkbox"/> 表計算ツール : 1階・1/28.1 100以上 2階・1/37.6 73以上 <input checked="" type="checkbox"/> 以上により : 1階柱小径 = 105 2階柱小径 = 105
--	---



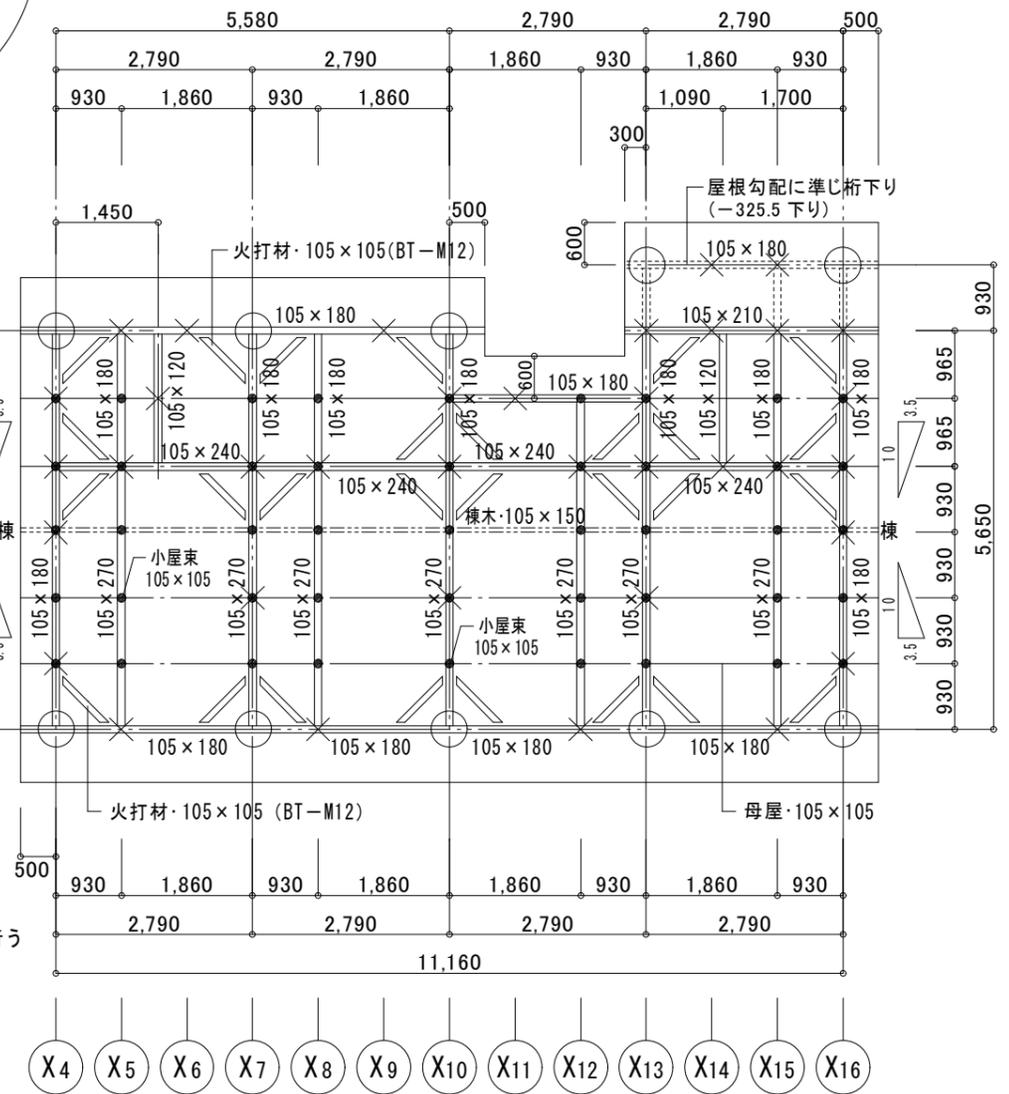
1階床伏図凡例			
	1階の管柱(杉1等材) : 105 × 105	F 1	大引(杉1等材) : 105 × 105
	1階の管柱(杉1等材) : 120 × 120		根太(杉1等材) : 60 × 45 ~@303
	通し柱(杉1等材) : 120 × 120		防腐、防蟻措置
土 台 : 120 × 120 (杉1等材)		火打土台(杉1等材) : 105 × 45 (N90) 釘2本打ち	
<p>凡例</p> <input type="checkbox"/> 土台・桧 : 120×120(基礎パッキン敷き) <input type="checkbox"/> JISの構造用製材に規定する保存処理性能区分K3相当以上の防腐、防蟻措置の加圧注入方式の土台又は同等品を使用。			
<p>※ 防腐 : 防蟻処理 : G L + 1,500まで ※ 木材は乾燥材を使用。接合金物一式は(Z)マーク表示規格品を使用</p>			



1階小屋伏図 / 2階床伏図 S=1/100

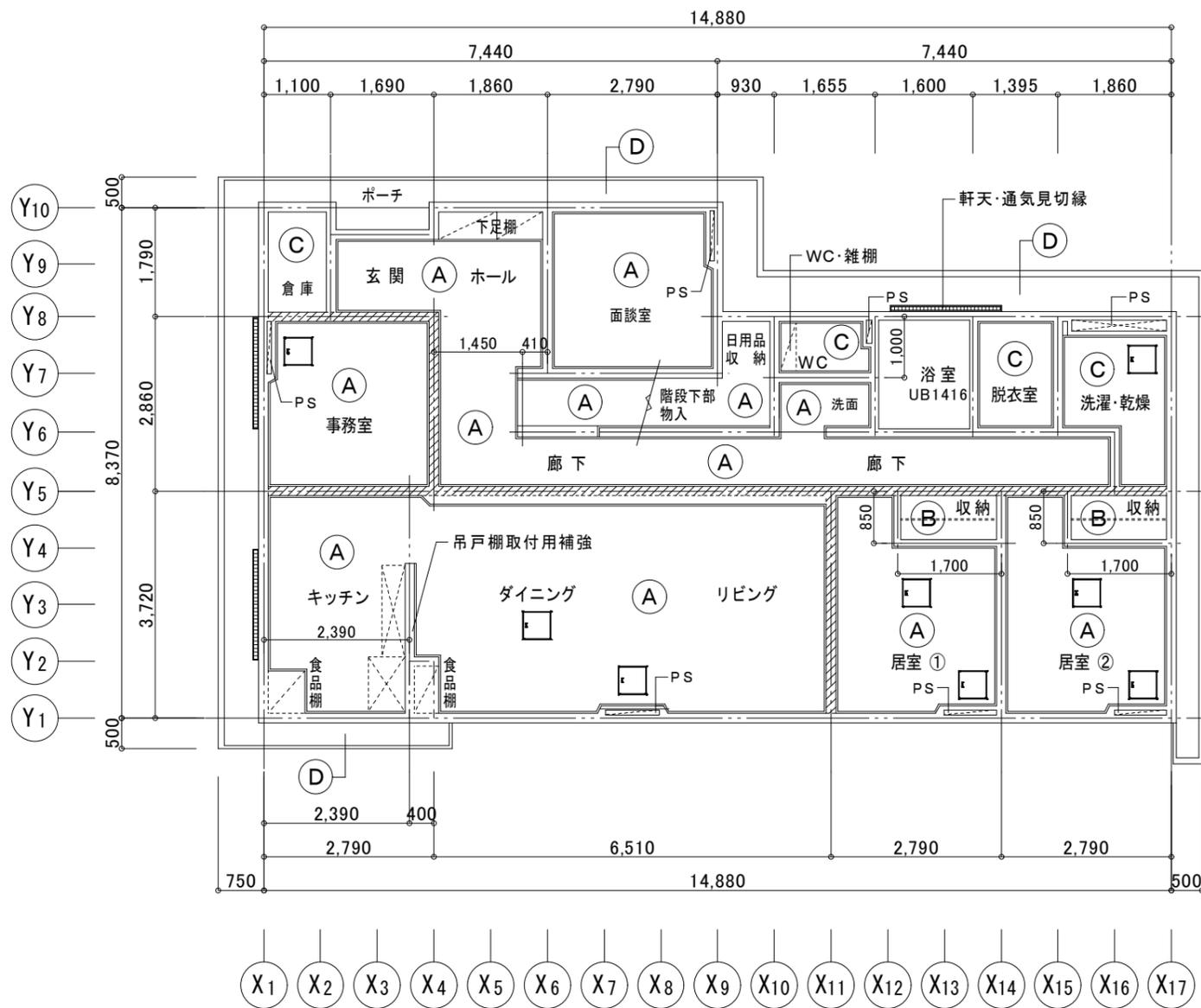


※ 継手等の取合いにより必要に応じて添え柱の取付を行う
 ※ 特記無き材(繋ぎ材等)・105x120とする

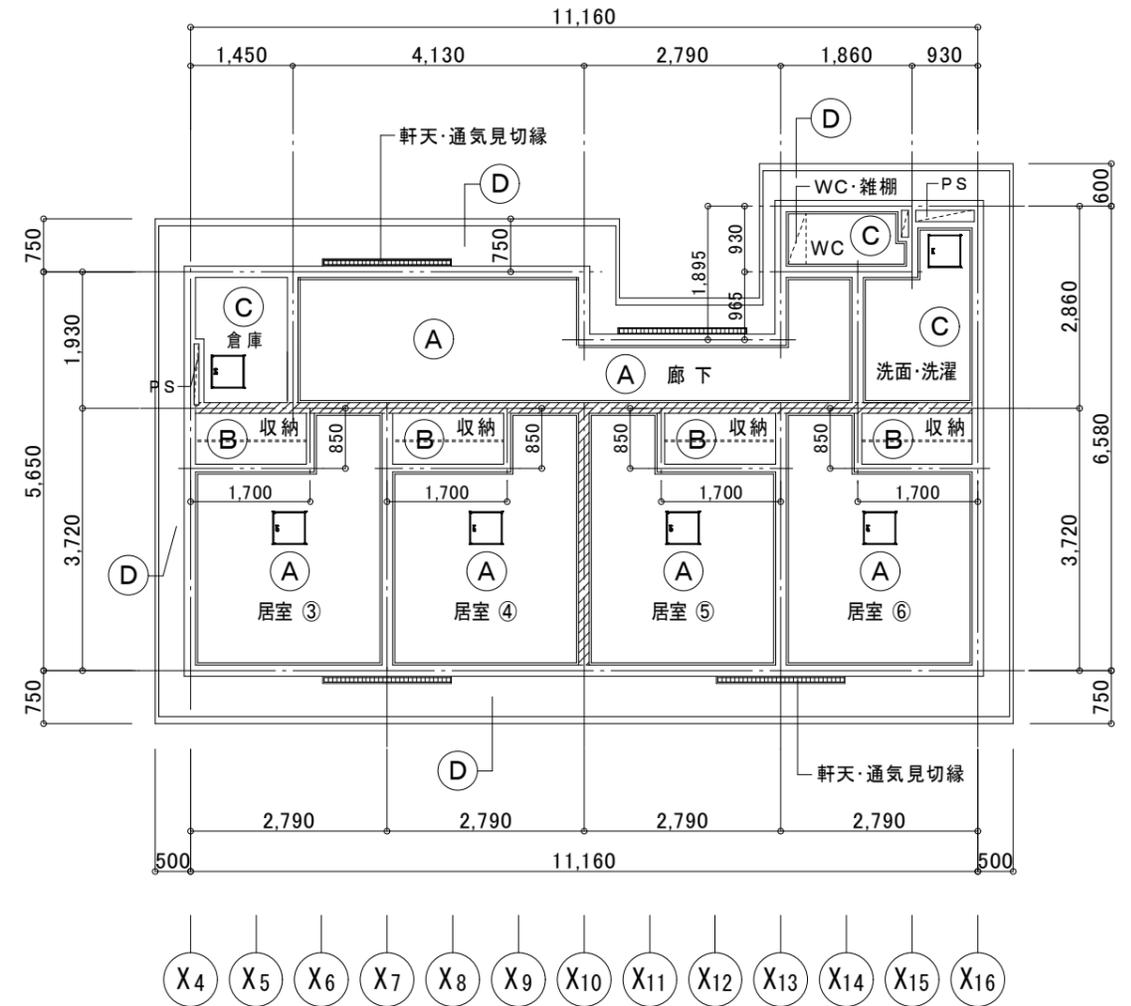


2階小屋伏図 S=1/100

柱 凡 例		2階床伏図凡例		各階小屋伏図凡例	
	階下の管柱(杉1等材)位置: 105 x 105		6m材使用(継手ナシ): 120 x 330	・ 小屋束(杉1等材)・・・105 x 105	・ 垂木(杉1等材)・・・60 x 45 ~ @ 333, 釘打ち(N120mm) + ひねり金物
	階下の管柱(杉1等材)位置: 120 x 120		添え梁: 120 x 330 (BT-M12)	・ 母屋(杉1等材)・・・105 x 105	・ 火打材(杉1等材)・・・105 x 105 (M12-BT)
	通シ柱(桧1等材)位置: 120 x 120	F 2	根太(杉1等材): 60 x 45 ~ @303	・ スミ木(杉1等材)・・・105 x 120	・ 基準屋根勾配・・・3.5 / 10
	2階の管柱(杉1等材)位置: 105 x 105	(2階床組み)	構造用合板 t = 15mm 捨て貼り	・ 棟木(杉1等材)・・・105 x 150	※ 木材は乾燥材を使用。接合金物一式は(Z)マーク表示規格品を使用



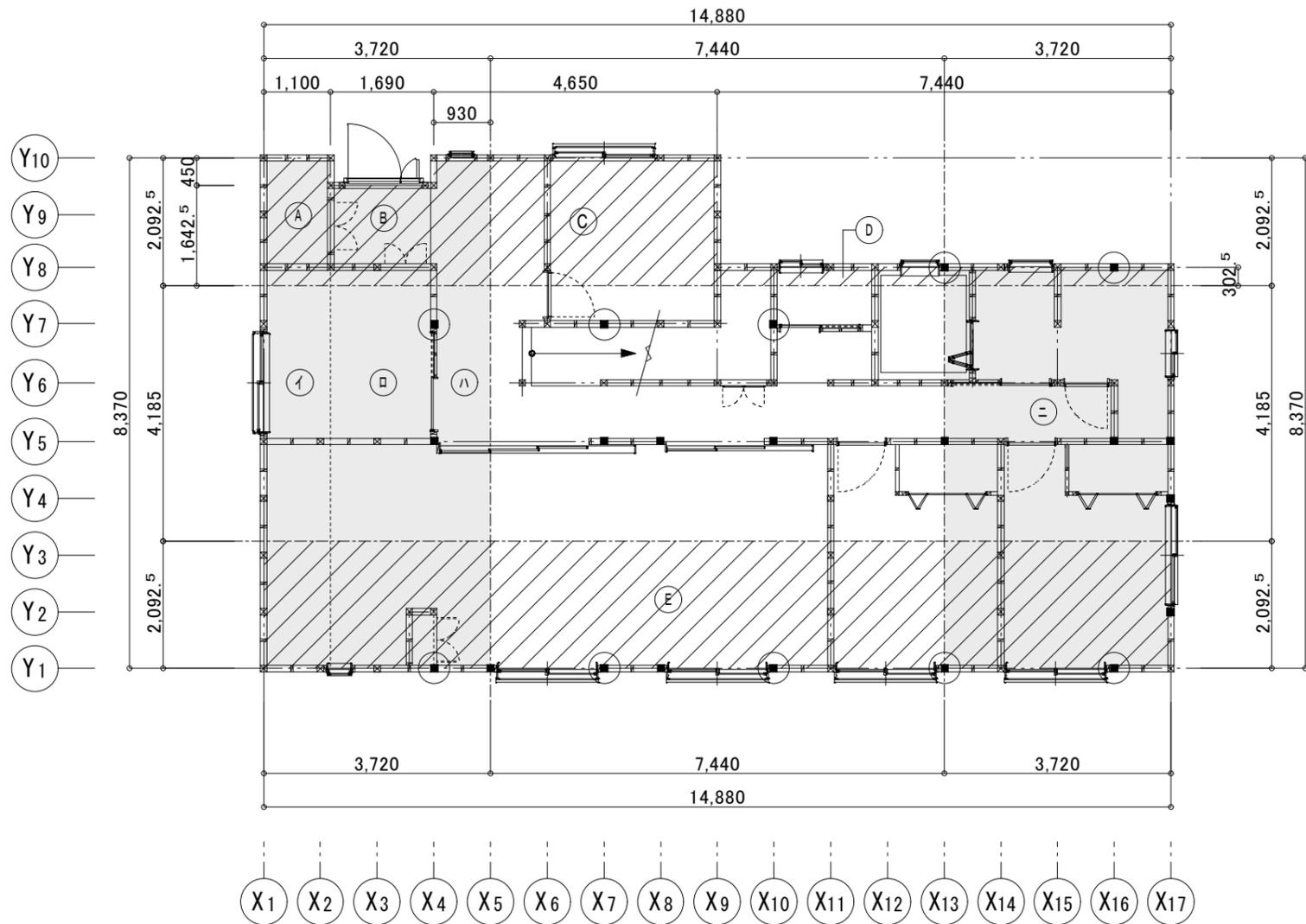
1階 天井伏図 S=1/100



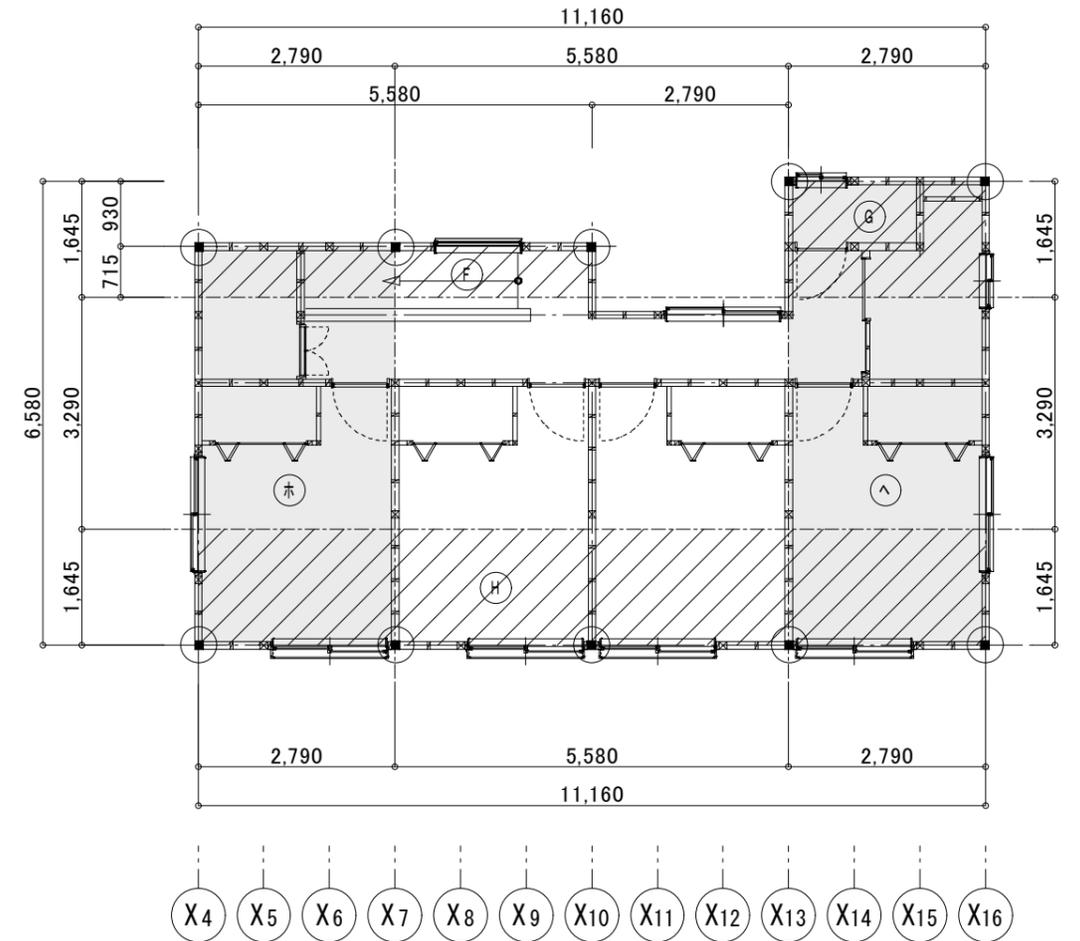
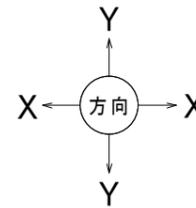
2階 天井伏図 S=1/100

■ 天井伏図凡例

記号	天井			備考
	下地	仕上	廻り縁	
(A)	t 9.5 石膏ボード貼り	ビニルクロス貼り	既製廻り縁: t 9.0×40 基材: MDF・表面: オレフィン	
(B)	t 9.5 石膏ボード貼り	ビニルクロス貼り	既製塩ビ見切	ステンレスハンガー・パイプ 25φ 取付
(C)	t 9.5 石膏ボード貼り	ビニルクロス貼り	既製塩ビ見切	クロス・調湿タイプ WC部・WC
(D)	木製野縁組み	ガラス質複層板 t12	既製見切縁	ケイミュー軒天材ライト30同等品
<p>//// 防火上主要な間仕切壁(各階共通)を示す</p> <p>□ 7/8寸枠天井点検口・450×450(既製品): 取付位置については空調機及び照明器具との取合い打合せによる</p> <p> 軒天材ライト30用通気見切縁 BM2(t 0.4 L=1.820)×7ヶ処</p>				



1階 平面図 s=1/100



2階 平面図 s=1/100

■ 1階 : X方向 1/4 端部床面積算定		■ 1階 : Y方向 1/4 端部床面積算定	
X 方向		Y 方向	
上 :	$A \cdot (2,092.5 \times 1,100) = 2,30175$	左 :	$I \cdot (1,100 \times 8,370) = 9,207$
	$B \cdot (1,690 \times 1,642.5) = 2,775825$		$ロ \cdot (1,690 \times 7,920) = 13,3848$
	$C \cdot (2,092.5 \times 4,650) = 9,730125$		$ハ \cdot (0,930 \times 8,370) = 7,7841$
	$D \cdot (0,302.5 \times 7,440) = 2,2506$		計 = 30.37 m ²
	計 = 17.05 m ²		
下 :	$E \cdot (2,092.5 \times 14,880) = 31,1364$	右 :	$ニ \cdot (3,720 \times 6,580) = 24,4776$
	計 = 31.13 m ²		計 = 24.47 m ²

■ 2階 : X方向 1/4 端部床面積算定		■ 2階 : Y方向 1/4 端部床面積算定	
X 方向		Y 方向	
上 :	$F \cdot (0,715 \times 5,580) = 3,9897$	左 :	$ホ \cdot (2,790 \times 5,650) = 15,7635$
	$G \cdot (1,645 \times 2,790) = 4,58955$		計 = 15.76 m ²
	計 = 8.57 m ²		
下 :	$H \cdot (1,645 \times 11,160) = 18,3582$	右 :	$ヘ \cdot (2,790 \times 6,580) = 18,3582$
	計 = 18.35 m ²		計 = 18.35 m ²



(株) 那須設計

代表取締役 那須 裕子
宮崎市松橋 1-8-1 TEL 0985 (22) 3111

一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 L-65 号
管理建築士 一級建築士登録 厨子 幸治 第 298693 号
設計者 一級建築士登録 厨子 幸治 第 298693 号

管理建築士 管理技術者 設計者

工事名称 青島学園地域小規模児童養護施設新築工事

図面名称 壁量計算 3-1 (四分割法 平面図)

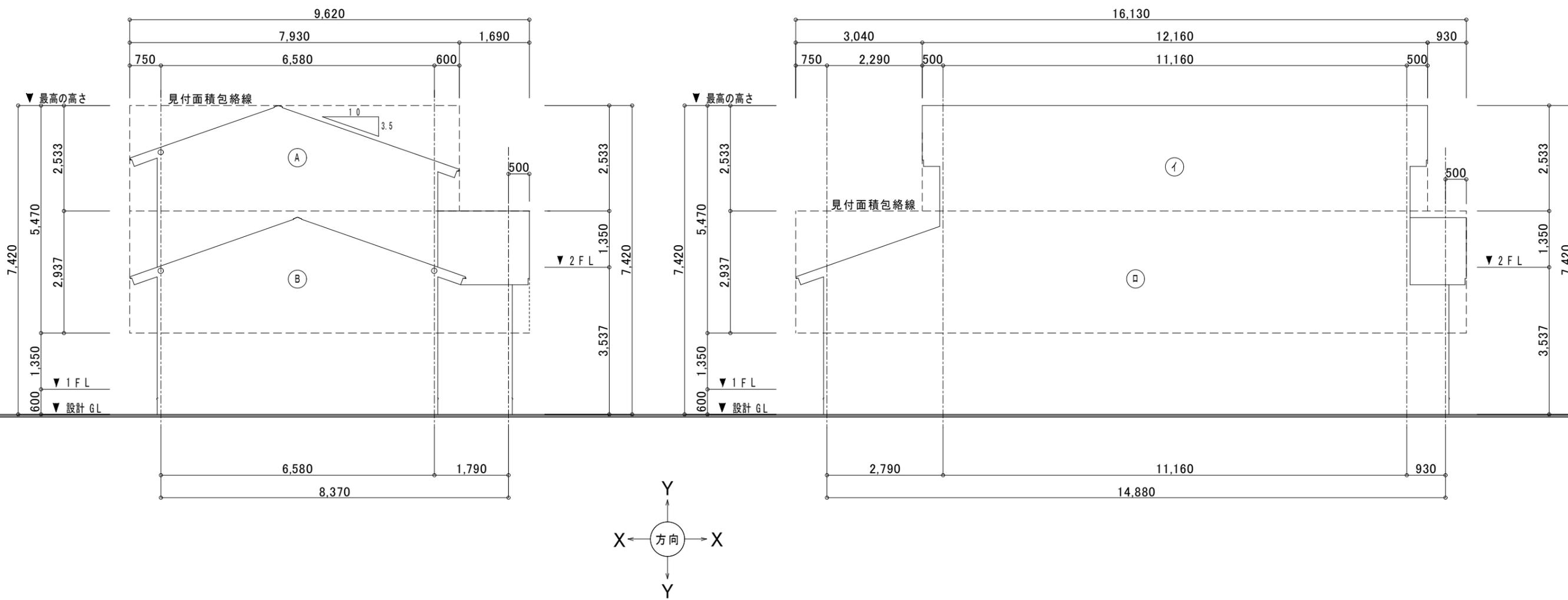
設計年月 令和7年4月

縮尺 1/100

検図

図面番号

A-36



■ X方向 見付面積算定表

A	・ (7.930 × 2.533)	= 20.08669
B	・ (9.620 × 2.937)	= 28.25394

■ X方向 見付面積算定結果表

2階	・ ・ A	= 20.08	m ²
1階	・ ・ A + B	= 48.34	m ²

< 床面積 >

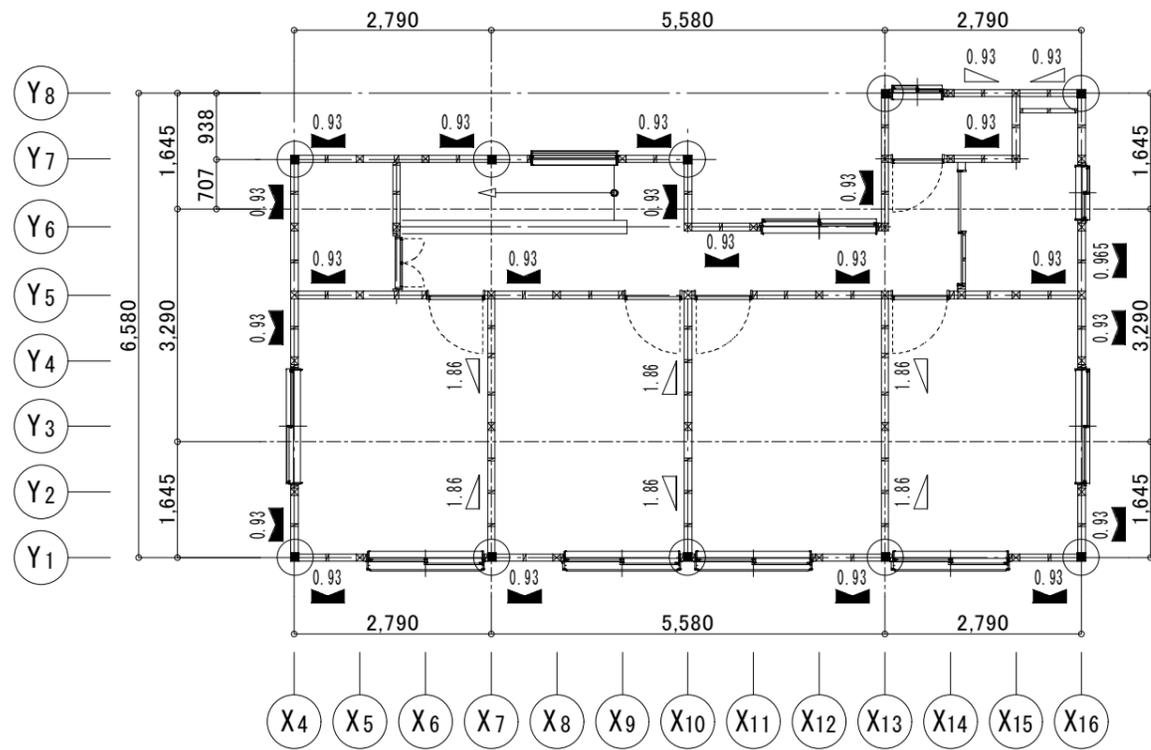
◇ 1階床面積	= 110.46	m ²
◇ 2階床面積	= 62.95	m ²

■ Y方向 見付面積算定表

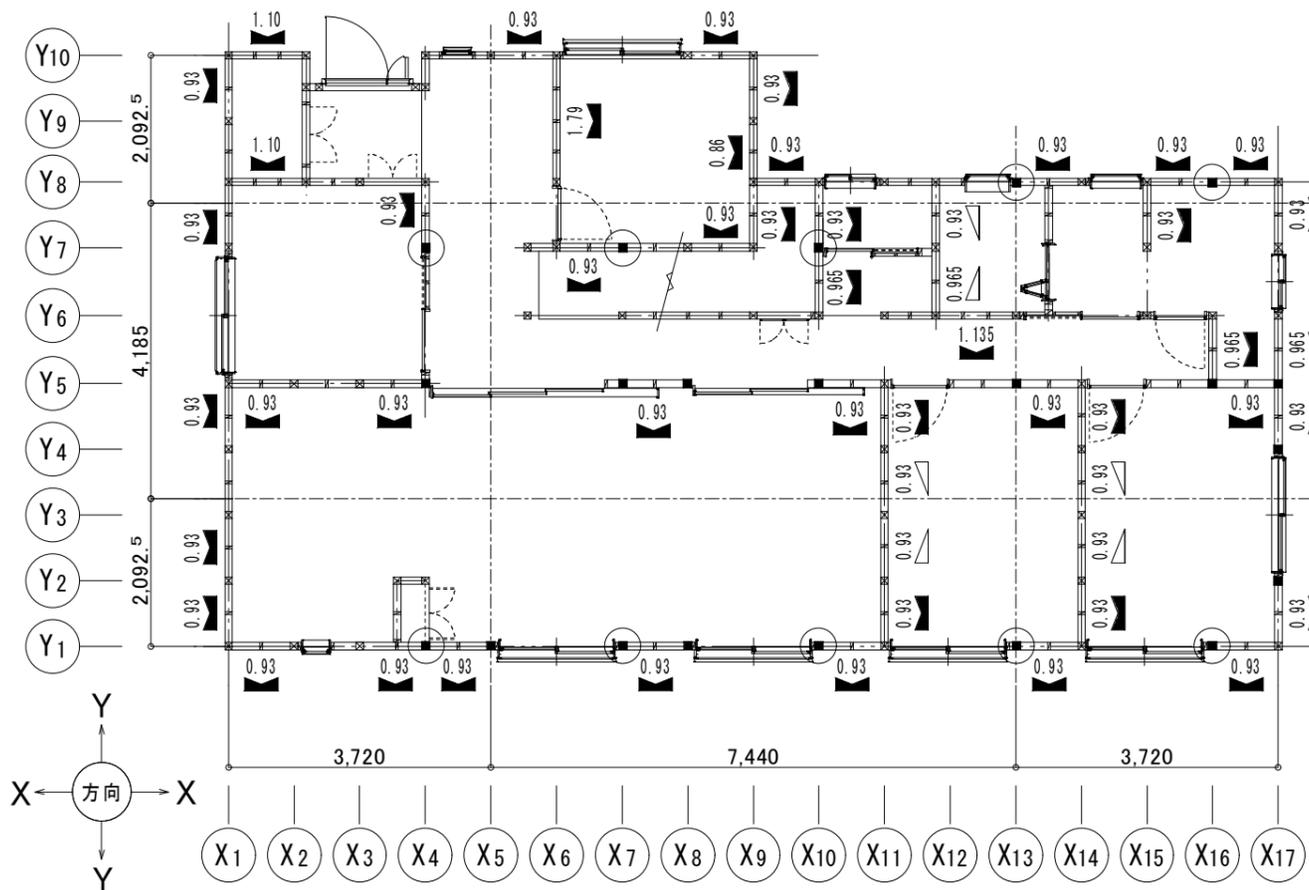
イ	・ (12.160 × 2.533)	= 30.80128
ロ	・ (16.130 × 2.937)	= 47.37381

■ Y方向 見付面積算定結果表

2階	・ ・ イ	= 30.80	m ²
1階	・ ・ イ + ロ	= 78.17	m ²



2階：筋かい位置図



1階：筋かい位置図

筋かい凡例

上	筋かい：45 × 90
下	筋かい：45 × 90 (タスキ掛け)

※ 筋かいの交差部：欠き込み無し

※地震力に対する床面積当たりの必要壁量の検討

■ 表計算ツール：屋根・金属板葺き、壁・サイディング	■ 早見表：屋根・金属板葺き、壁・サイディング
1階・26 cm/m ²	1階・32 cm/m ²
2階・18 cm/m ²	2階・19 cm/m ²

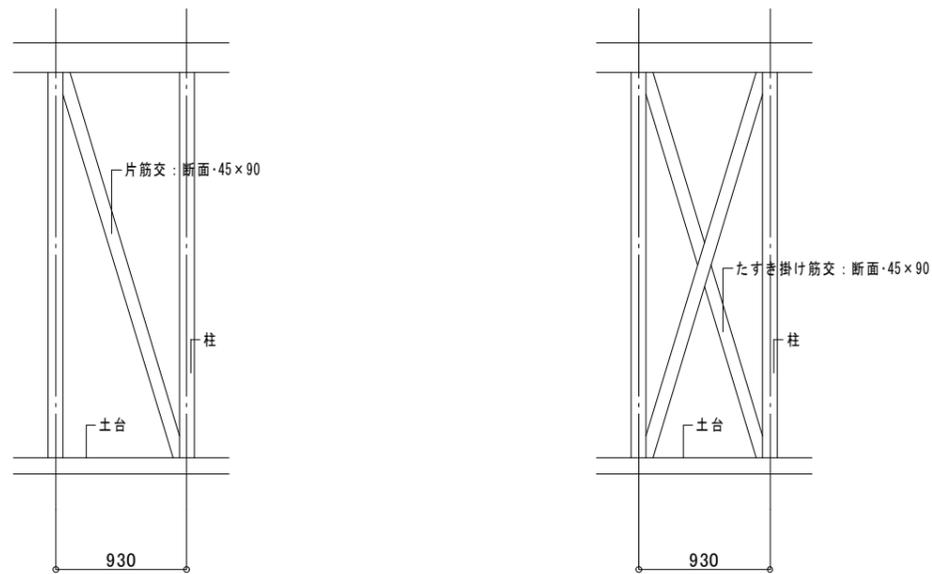
※ 早見表数値により検討

第46条(構造耐力上必要な軸組等)より	倍率	(イ)当該軸組長さ(m)				(イ)×(ロ)軸組長さ(m)			
		1階		2階		1階		2階	
		X方向	Y方向	X方向	Y方向	X方向	Y方向	X方向	Y方向
4.5cm×9.0cmの木材の筋かい	2.0		7.51	1.86	11.16		15.02	3.72	22.32
上記の筋かいをたスキ掛けに入れたもの	(2)×2	22.865	19.46	12.09	7.475	91.46	77.84	48.36	29.90
合計						91.46	92.86	52.08	52.22
判定						OK	OK	OK	OK

階	A・地震力に対する床面積当たりの必要壁量(m)				B・風圧力に対する見付面積当たりの必要壁量(m)				必要壁量の決定(m)		存在壁量(m)			
	床面積(m ²)	係数(m/m ²)	地盤係数	必要壁量(m)	見付面積		係数(m/m ²)	必要壁量		A・B比較値の大きい値				
					X方向	Y方向		X方向	Y方向	X方向	Y方向			
2階建	2階	62.95	0.19	1.00	11.97	21.0	31.0	0.5	10.50	15.50	11.97	15.50	52.08	52.22
	1階	110.46	0.32	1.00	35.35	49.0	79.0	0.5	24.50	39.50	35.35	39.50	91.46	92.86

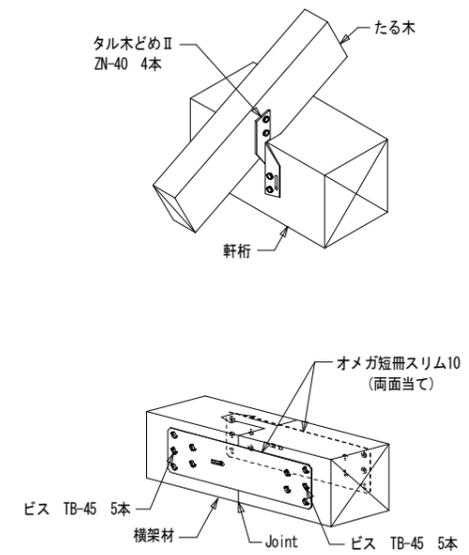
■ 四分割法判定表

階	方向	位置	必要壁量の算定(m)				存在壁量の算定(m)		壁量充足率の算定		壁量充足率の判定
			有効面積(m ²)	壁量係数(m/m ²)	地盤割増	必要壁量(m)	算定式(m)	計	算定式(m)		
2階	X方向	上	8.57	0.19	1.00	1.63	シングル	1.86 × 2.00 = 3.72	18.60	18.60 ÷ 1.63 = 11.41	1を超えている ∴ OK
							ダブル	3.72 × 4.00 = 14.88			
	下	18.35	0.19	1.00	3.49	シングル		14.88	14.88 ÷ 3.49 = 4.26	1を超えている ∴ OK	
						ダブル	3.72 × 4.00 = 14.88				
	Y方向	左	15.76	0.19	1.00	3.00	シングル	3.72 × 2.00 = 7.44	18.60	18.60 ÷ 3.00 = 6.20	1を超えている ∴ OK
							ダブル	2.79 × 4.00 = 11.16			
右	18.35	0.19	1.00	3.49	シングル	3.72 × 2.00 = 7.44	22.46	22.46 ÷ 3.49 = 6.43	1を超えている ∴ OK		
					ダブル	3.755 × 4.00 = 15.02					
1階	X方向	上	17.05	0.32	1.00	5.46	シングル		31.12	31.12 ÷ 5.46 = 5.70	1を超えている ∴ OK
							ダブル	7.78 × 4.00 = 31.12			
	下	31.13	0.32	1.00	9.97	シングル		26.04	26.04 ÷ 9.97 = 2.61	1を超えている ∴ OK	
						ダブル	6.51 × 4.00 = 26.04				
	Y方向	左	30.37	0.32	1.00	9.72	シングル		22.32	22.32 ÷ 9.72 = 2.29	1を超えている ∴ OK
							ダブル	5.58 × 4.00 = 22.32			
右	24.47	0.32	1.00	7.83	シングル	3.755 × 2.00 = 7.51	29.97	29.97 ÷ 7.83 = 3.82	1を超えている ∴ OK		
					ダブル	5.615 × 4.00 = 22.46					



※ 筋かい 45以上 x 90以上の木材

※ 垂木の接合方法



■ 筋かいの端部の接合方法(金物参考図)

二 筋かい 45以上 x 90以上の木材					
筋かいプレート BP-2	<p>【寸法・形状】</p>	<p>【使用接合具】</p> <ul style="list-style-type: none"> 角根平頭ボルト M12 小型角座金 W2.3×30 六角ナット M12 スクリーナ釘 ZS50 	筋かいプレート BB-2	<p>【寸法・形状】《第一—二》</p> <p>《第一—二》</p>	<p>【使用接合具】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平頭座金付きボルト M12 六角ナット M12 皿頭スクリーナ釘 BN-60 太め釘 ZN40

柱の接合補強 (建設省告示1460号)

特記：使用金物類は、日本住宅・木材技術センターのZマーク表示金物相当品とする事。

柱の位置 壁、筋かいの種類	平屋または最上階		その他の部分 (2階建ての1階部分)				
	出隅の柱	その他の軸組端部の柱	上階=出隅の柱 当該階=出隅の柱	上階=出隅の柱 当該階≠出隅の柱	上階≠出隅の柱 当該階≠出隅の柱		
木ずりその他これに類するものを柱及び間柱の片面または両面に打ち付けた壁	短ほぞ差し い	短ほぞ差し い	短ほぞ差し い	短ほぞ差し い	短ほぞ差し い		
厚さ1.5cm以上×幅9cm以上の木材、または径9mm以上の鉄筋の筋かい	長ほぞ差し L字金物 ろ	短ほぞ差し い	長ほぞ差し L字金物 ろ	短ほぞ差し い	短ほぞ差し い		
厚さ3cm以上×幅9cm以上の木材の筋かい	筋かい下部が取り付く柱の場合 長ほぞ差し L字金物 ろ	左以外の柱の場合 羽子板ボルト短ざく金物 (スクリーナなし) に	筋かい下部が取り付く柱の場合 短ほぞ差し い	左以外の柱の場合 長ほぞ差し L字金物 ろ	羽子板ボルト短ざく金物 (スクリーナなし) に	長ほぞ差し L字金物 ろ	短ほぞ差し い
厚さ1.5cm以上×幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛または9mm以上の鉄筋の筋かいをたすき掛け	羽子板ボルト短ざく金物 (スクリーナなし) に	長ほぞ差し L字金物 ろ	1.5tホールダウン金物 と	T字金物 V字金物 は	長ほぞ差し L字金物 ろ		
厚さ4.5cm以上の幅9cm以上の木材の筋かい	筋かい下部が取り付く柱の場合 T字金物 V字金物 は	左以外の柱の場合 羽子板ボルト短ざく金物 ほ	長ほぞ差し L字金物 ろ	1.5tホールダウン金物 と	T字金物 V字金物 は	長ほぞ差し L字金物 ろ	
構造用合板を打ち付けた壁	羽子板ボルト・短ざく金物 ほ	長ほぞ差し L字金物 ろ	2.0tホールダウン金物 ち	1.0tホールダウン金物 へ	T字金物 V字金物 は		
厚さ3cm以上×幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛	1.5tホールダウン金物 と	T字金物・V字金物 は	2.5tホールダウン金物 り	1.5tホールダウン金物 と	羽子板ボルト短ざく金物 (スクリーナなし) に		
厚さ4.5cm以上の幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛	1.5tホールダウン金物 と	羽子板ボルト・短ざく金物 (スクリーナなし) に	1.5tホールダウン金物×2個 ぬ	2.0tホールダウン金物 ち	1.5tホールダウン金物 と		

い

ろ

(は)に準ずる

は

(上部)
V字金物 厚2.3mm
長さ9cmの太め鉄丸釘4本平打ち (柱)

(下部)
V字金物 厚2.3mm
長さ9cmの太め鉄丸釘4本平打ち (柱)

※上記のV金物に替えて、スリムプレート (CP-T 相当) 使用も可

に

ほ

へ

と

ち

※接合方法は (と) に準ずる

り

ぬ

※接合方法は (と) に準ずる

(と) を2個使ったもの

■ Zマーク表示金物及びZマーク同等認定金物

接合金物仕様

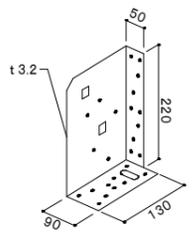
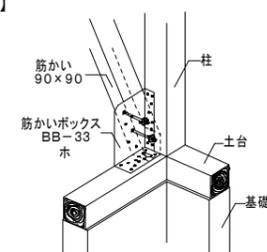
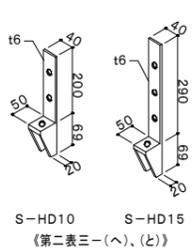
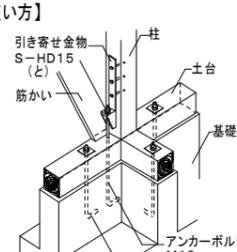
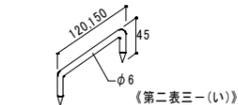
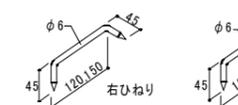
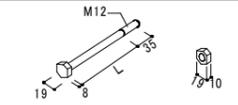
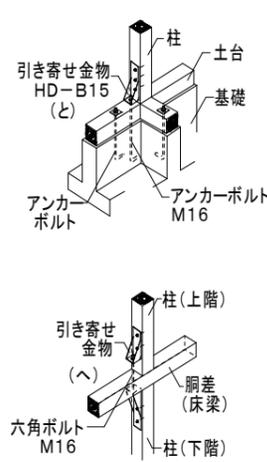
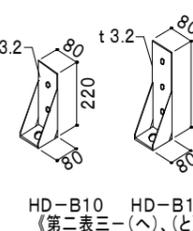
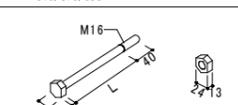
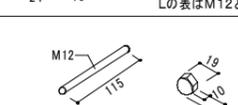
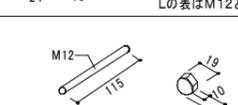
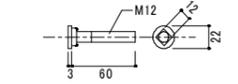
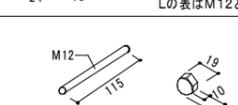
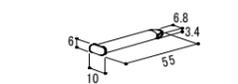
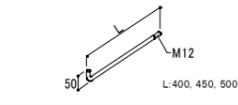
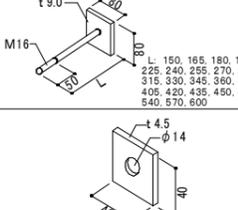
《 》は建設省告示第1460号の該当項目を示す

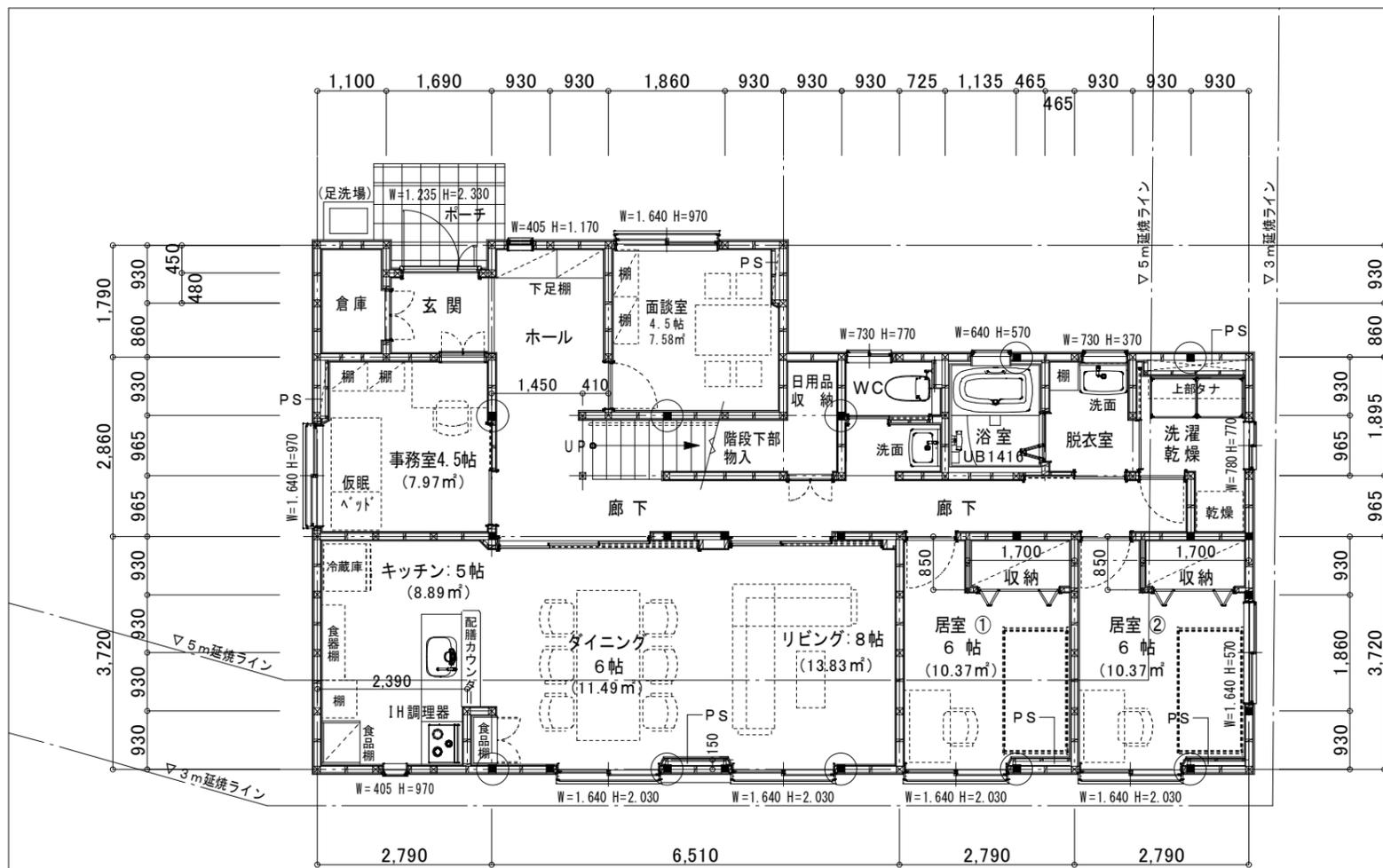
種類・記号	形状・寸法(単位mm)	使用接合具	用途・使い方	種類・記号	形状・寸法(単位mm)	使用接合具	用途・使い方	種類・記号	形状・寸法(単位mm)	使用接合具	用途・使い方
柱脚金物 PB-33 PB-42	【寸法・形状】 	六角ボルト M12x110 全ねじボルト M12x115	【用途】 玄関の独立柱等の柱脚支持 【使い方】 	折曲げ金物 SF (右ひねり及び左ひねり)	【寸法・形状】 	太め釘 ZN40	【用途】 ひねり金物と同様の用途 【使い方】 	火打金物 HB	【寸法・形状】 	六角ボルト M12 六角ナット M12 角座金 W4. 5x40 小型角座金 W2. 3x30 平釘 ZF55	【用途】 床組及び小屋組の隅角部の補強
短冊金物 S	【寸法・形状】 	六角ボルト M12 六角ナット M12 角座金 W4. 5x40 スクリュー釘 ZS50	【用途】 1、2階管柱の連結・胴差相互の連結等 【使い方】 	くら金物 SS	【寸法・形状】 	太め釘 ZN40	【用途】 ひねり金物と同様の用途 【使い方】 	三角火打金物	【寸法・形状】 	六角ボルト M12 六角ナット M12 角座金 W4. 5x40 羽子板ボルト	【用途】 床組及び小屋組の隅角部の補強。基礎・土台・柱の一体化。通し柱と横架材、梁と横架材の一体化
ひら金物 SM-12 SM-40	【寸法・形状】 	太め釘 ZN65	【用途】 SM-12→かすがいと同様の用途 SM-40→管柱の連結等 【使い方】 	かど金物 CP-L CP-T	【寸法・形状】 	太め釘 ZN65	【用途】 引張りをつける柱と土台・横架材の接合 【使い方】 	筋かいプレート BP	【寸法・形状】 	角根平頭ボルト M12 小型角座金 W2. 3x30 六角ナット M12 太め釘 ZN65	【用途】 筋かいを柱と横架材に同時に接合 【使い方】筋かい断面寸法30mm×90mmに使用する。
かね折り金物 SA	【寸法・形状】 	六角ボルト M12 六角ナット M12 角座金 W4. 5x40 スクリュー釘 ZS50	【用途】 通し柱と胴差の取合い 【使い方】 	山形プレート VP	【寸法・形状】 	太め釘 ZN90 8本	【用途】 かど金物と同様の用途 【使い方】 	筋かいプレート BP-2	【寸法・形状】 	角根平頭ボルト M12 小型角座金 W2. 3x30 六角ナット M12 スクリュー釘 ZS50	【用途】 筋かいを柱と横架材に同時に接合 【使い方】筋かい断面寸法45mm×90mmに使用する。
ひねり金物 ST (右ひねりのみ)	【寸法・形状】 	太め釘 ZN40	【用途】 垂木と軒桁又は、母屋との接合 【使い方】 	羽子板ボルト SB-E	【寸法・形状】 	六角ボルト M12 六角ナット M12 角座金 W4. 5x40 スクリュー釘 ZS50	【用途】 小屋梁と軒桁、梁と柱、軒桁と柱、胴差と通し柱の連結 【使い方】 	筋かいボックス BB-2	【寸法・形状】 	平頭座金付き ボルト M12 六角ナット M12 皿頭スクリュー釘 BN-60 太め釘 ZN40	【用途】 筋かいを柱と横架材に同時に接合 【使い方】筋かい断面寸法45mm×90mmに使用する。

Zマーク表示金物及びZマーク同等認定金物

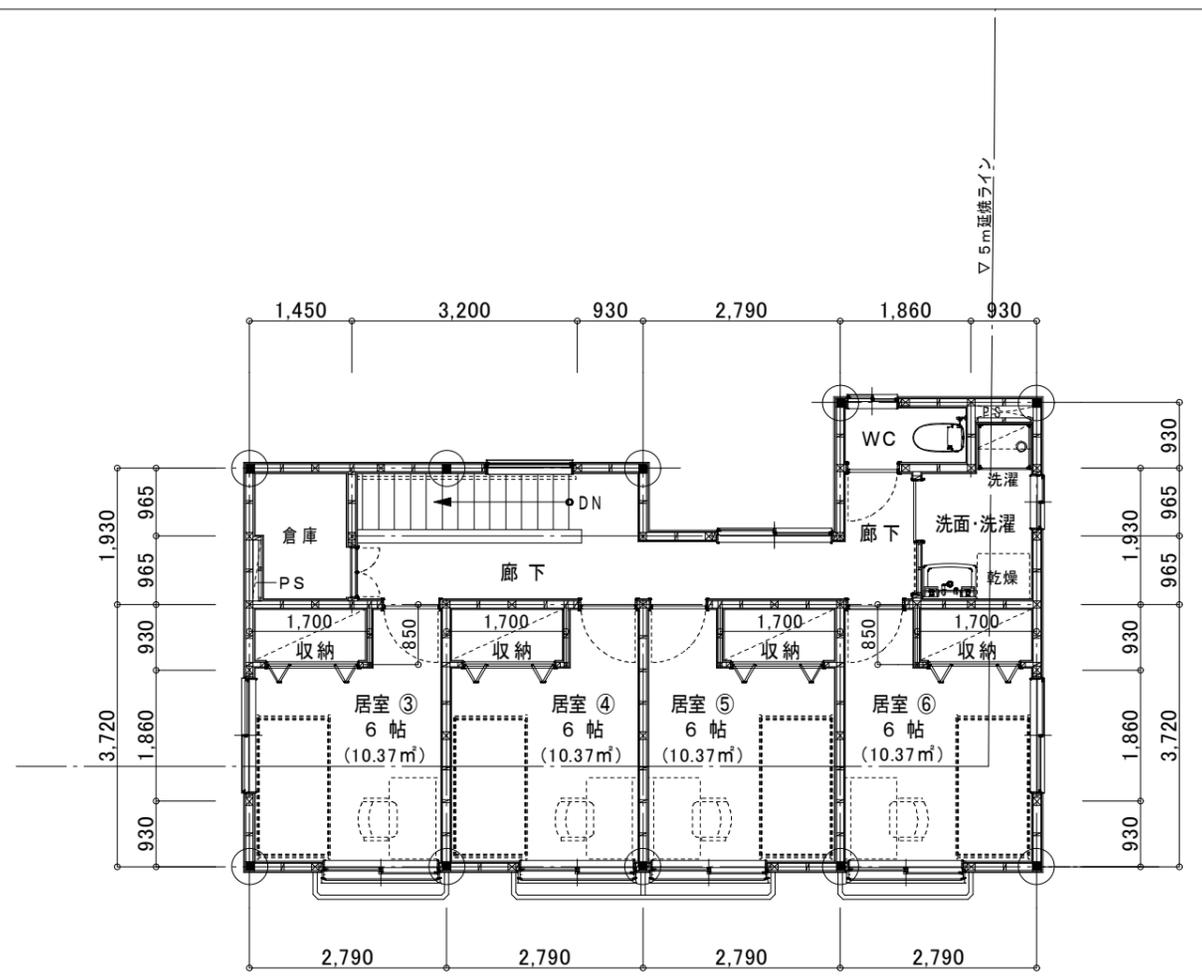
接合金物仕様

《 》は建設省告示第1460号の該当項目を示す

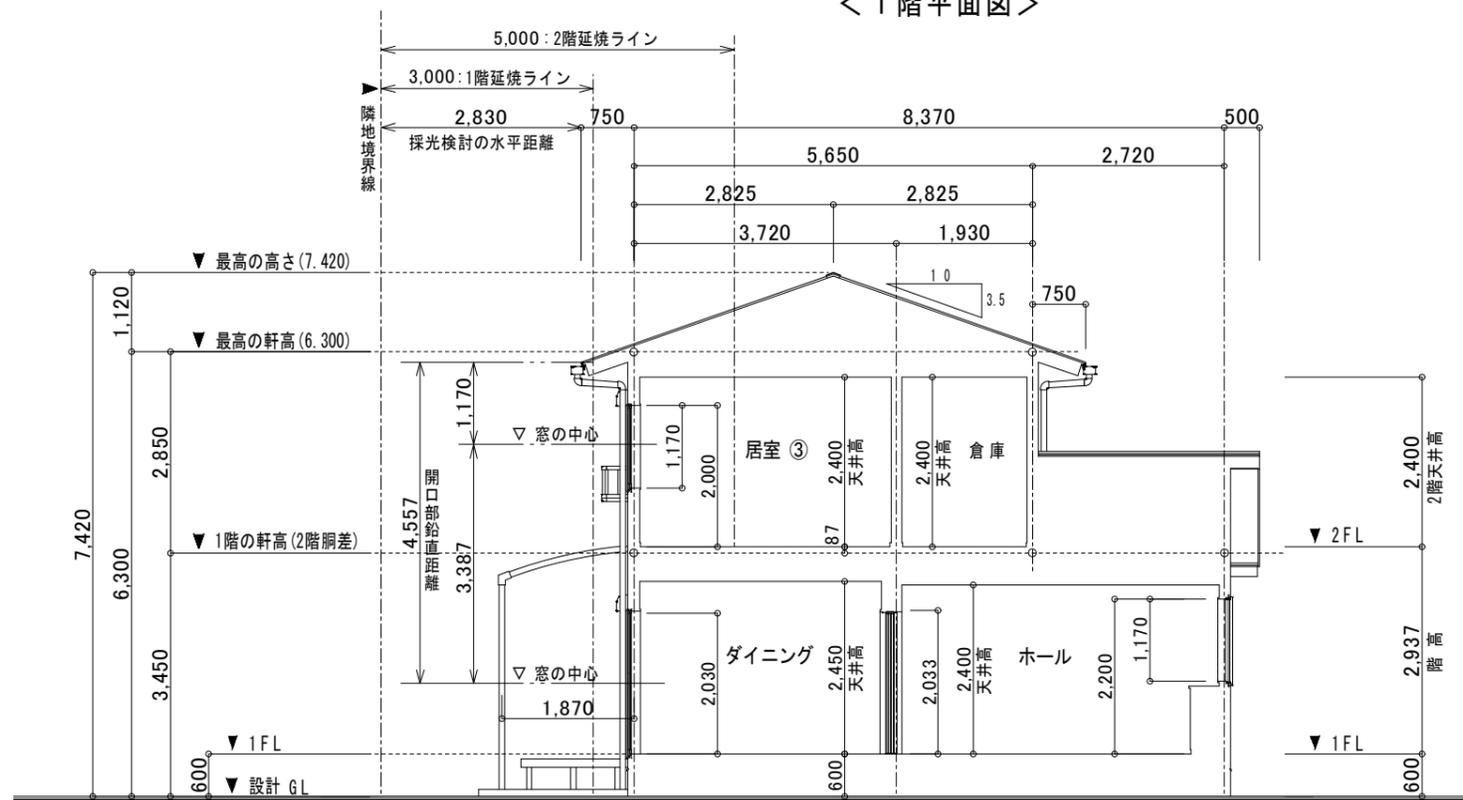
種類・記号	形状・寸法(単位mm)	使用接合具	用途・使い方	種類・記号	形状・寸法(単位mm)	使用接合具	用途・使い方	許容耐力(kgf)	種類	記号	形状・寸法(単位mm)	種類	記号	形状・寸法(単位mm)										
筋かいボックス BB-33	【寸法・形状】  《第一-ホ》	角根平頭ボルト M12x102 2本 ALC 座金付きナット M12 2個 皿頭スクリーナー BN-60 25本	【用途】筋かいを柱と横架材に同時に接合 【使い方】 	S-HD10 S-HD15 《第二表三-(へ)、(と)》	【寸法・形状】 	六角ボルト (2-M12) 又は ラグスクリュー (2-LS12)	【用途】柱と基礎(土台)又は管柱相互の緊結 【使い方】 	1000 (短期)	大め釘 ZN40 ZN65 ZN90	かすがい C120 C150	 《第二表三-(い)》	S-HD10 S-HD15 《第二表三-(へ)、(と)》	六角ボルト (3-M12) 又は ラグスクリュー (3-LS12)	1500 (短期)	かすがい 手選り CC120 CC150 (右ひねり及び左ひねり)	 右ひねり 左ひねり								
																	S-HD20 S-HD25 《第二表三-(ち)、(り)》	六角ボルト (4-M12) 又は ラグスクリュー (4-LS12)	六角ボルト (5-M12) 又は ラグスクリュー (5-LS12)	2000 (短期)	六角ボルト 六角ナット M12 (ボルトナット共)			
ホルダウン金物 引き寄せ金物	HD-B10	六角ボルト (2-M12) 又は ラグスクリュー (2-LS12)	【用途】柱と基礎(土台)又は管柱相互の緊結 【使い方】 	S-HD20 S-HD25 《第二表三-(ち)、(り)》	【寸法・形状】 	六角ボルト (3-M12) 又は ラグスクリュー (3-LS12)	引き寄せ金物 HD-B15 (と)	1000 (短期)	六角ボルト 六角ナット M12 (ボルトナット共)		L: 110, 125, 140, 150, 165, 180, 195, 210, 225, 240, 255, 270, 285, 300, 315, 330, 345, 360, 375, 390, 405, 420, 435, 450, 480, 510, 540, 570, 600	S-HD20 S-HD25 《第二表三-(ち)、(り)》	六角ボルト (4-M12) 又は ラグスクリュー (4-LS12)	2500 (短期)	六角ボルト 六角ナット M12 M16 (ボルトナット共)									
	HD-B15	六角ボルト (3-M12) 又は ラグスクリュー (3-LS12)															六角ボルト (5-M12) 又は ラグスクリュー (5-LS12)	六角ボルト 六角ナット M12 M16 (ボルトナット共)		Lの表はM12と同じ				
	HD-B20	六角ボルト (4-M12) 又は ラグスクリュー (4-LS12)															150 x180 用	ラグスクリュー (2-LS12)	目安700 長期	角根平頭 M12				
	HD-B25	六角ボルト (5-M12) 又は ラグスクリュー (5-LS12)																				六角ボルト 六角ナット M12 M16 (ボルトナット共)		Lの表はM12と同じ
	HD-N5	太め釘 (5-ZN90)															150 x210 用	ラグスクリュー (2-LS12)	目安900 長期	平釘 ZF55				
	HD-N10	太め釘 (10-ZN90)																				目安1200 長期	アンカーボルト A	
	HD-N15	太め釘 (15-ZN90)																						
	HD-N20	太め釘 (20-ZN90)																				角座金 W4. 5x40 W6. 0x54 W9. 0x80		
	HD-N25	太め釘 (25-ZN90)																						丸座金 RW9. 0x90



< 1階平面図 >



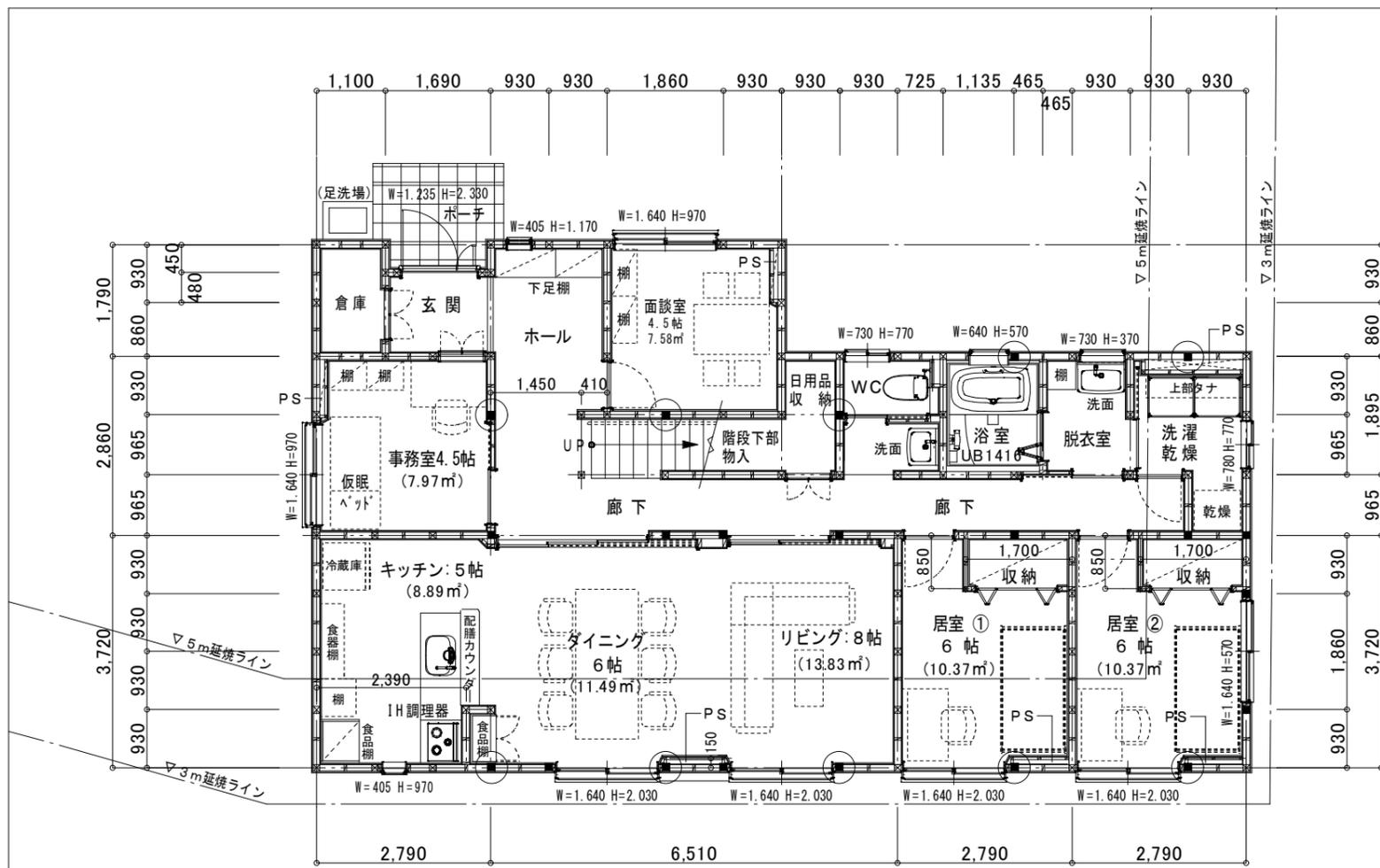
< 2階平面図 >



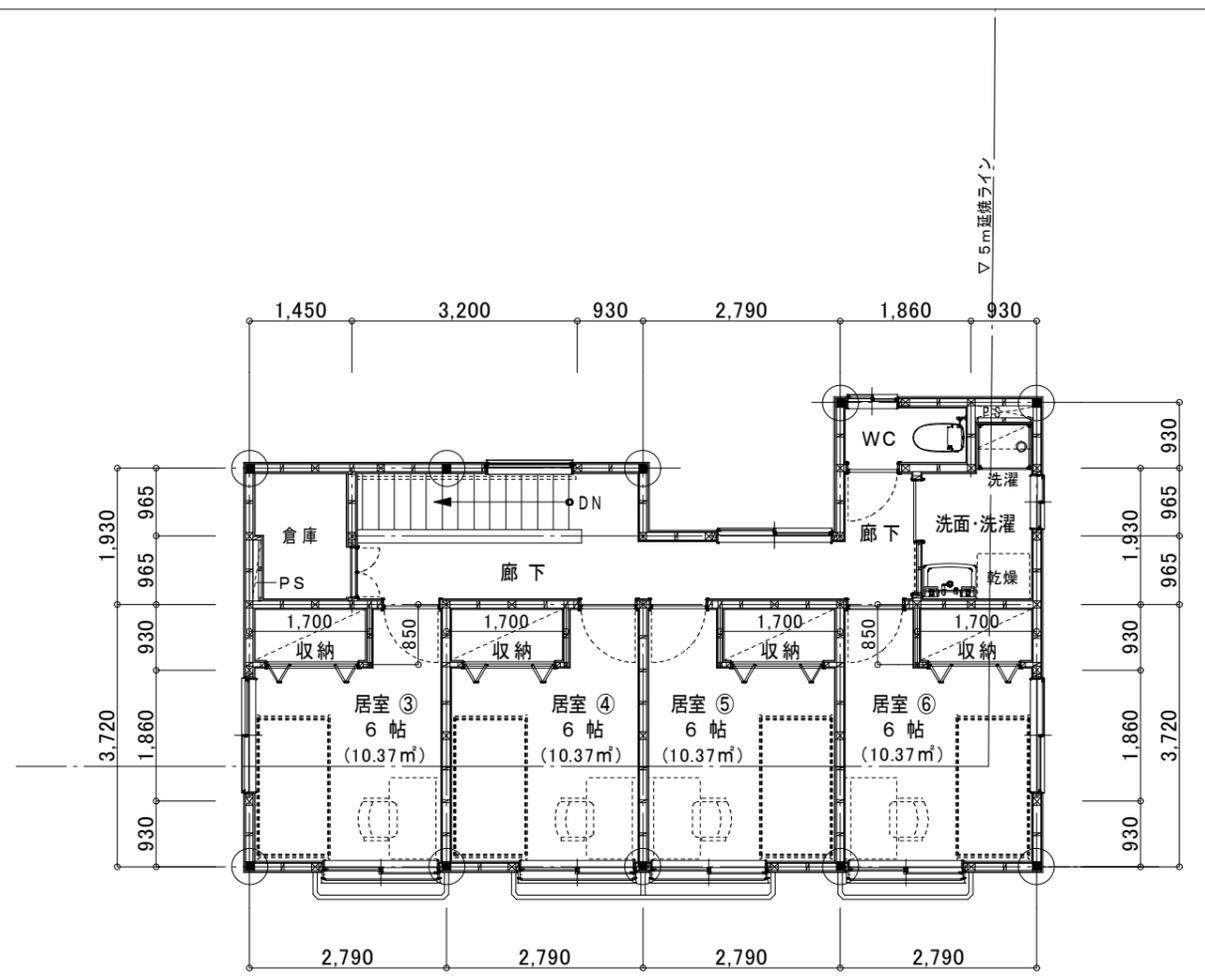
■ 採光計算

※ 採光補正係数 A : リビング + キッチン = 2室を1室として算定
 ・南側隣地境界線 (L = 2.830) より
 $10d/h - 1.0$ より $10.0 \times 2.830 / 4.557 - 1.0 = 5.21 \therefore A = 3.0$ 開口面積にて算定
 ※ 採光補正係数 A : 北面は道路に面し、西面は居室の開口部が河川に面している為
 A = 1.0 (開口面積) にて算定

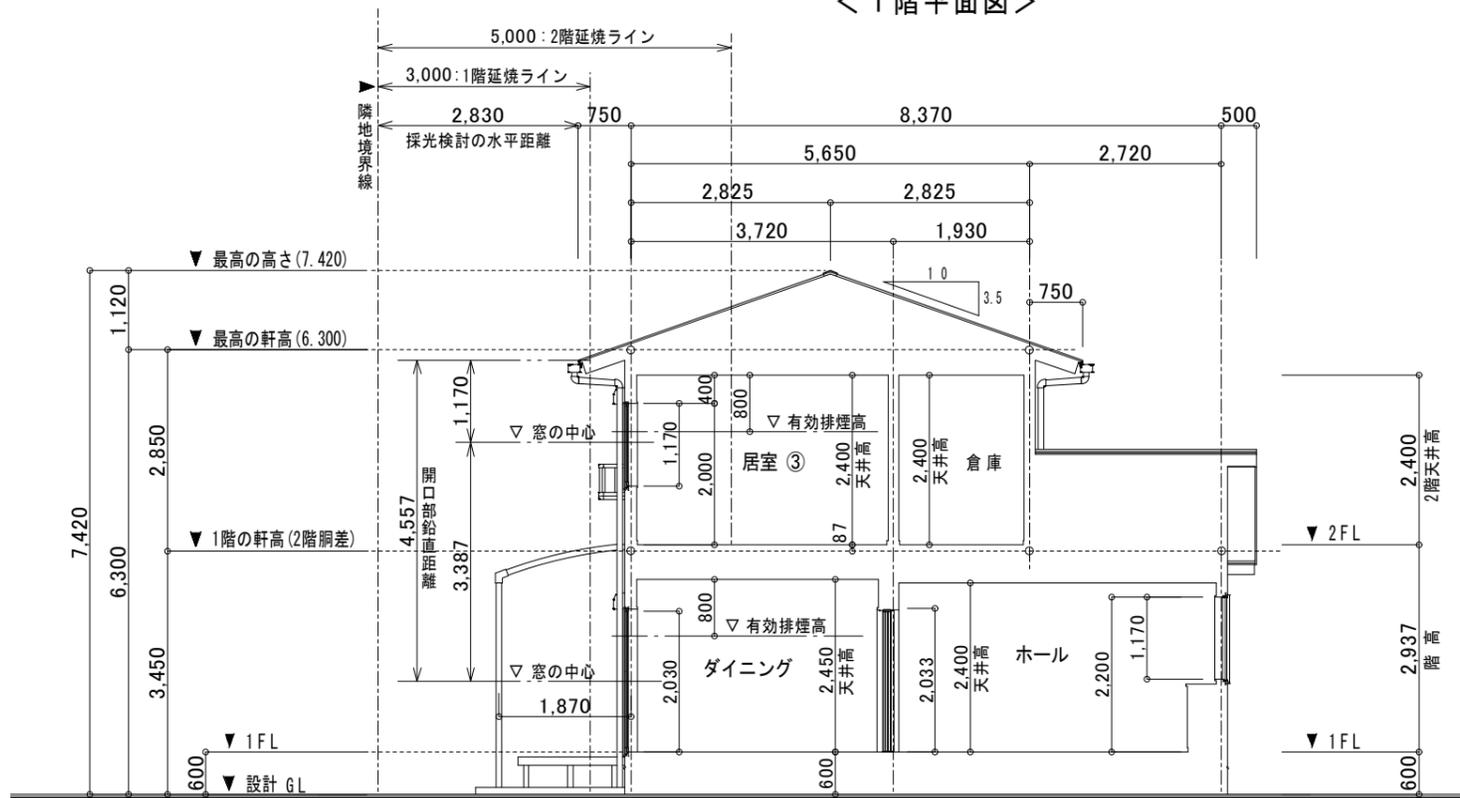
室名	床面積 (S)	必要採光面積 $S \times 1/7$	有効採光面積	判定
面談室	7.58	1.09	$1/AW: 1.640 \times 0.97 \times 1.0 = 1.59$	OK
事務室	7.97	1.14	$1/AW: 1.640 \times 0.97 \times 1.0 = 1.59$	OK
キッチン	8.89	$34.59 / 7 = 4.94$	$3/AW: 1.640 \times 2.03 \times 2.0 = 6.65$	OK
ダイニング・リビング	25.70			
居室①②	10.37	1.49	$3/AW: 1.640 \times 2.03 \times 1.0 = 3.32$	OK
居室③~⑥	10.37	1.49	$10/AW: 1.640 \times 1.17 \times 1.0 = 1.91$	OK



< 1階平面図 >



< 2階平面図 >

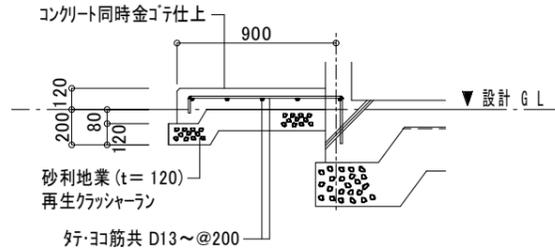
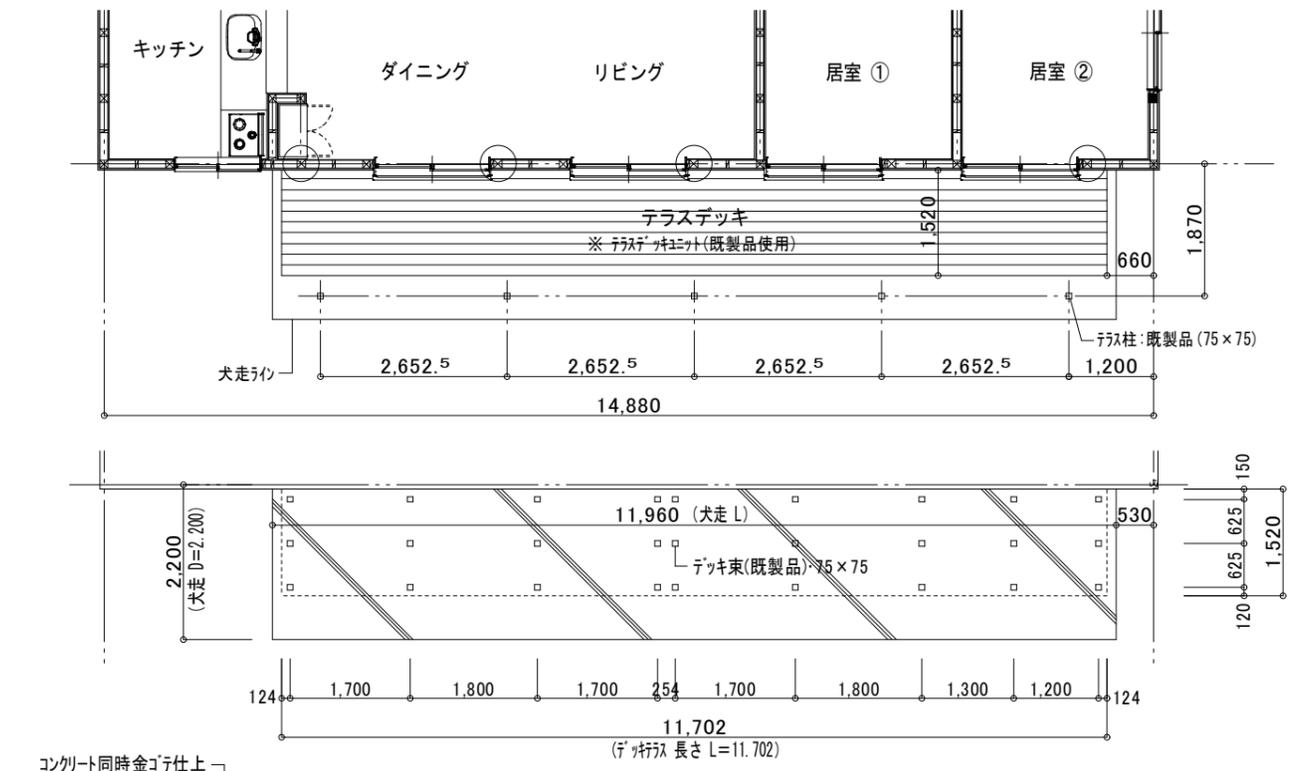


■ 換気計算

室名	床面積 (S)	必要換気面積 $S \times 1/20$	有効換気面積	判定
面談室	7.58	0.38	$1/AW: 1.640 \times 0.97 \times 1/2 = 0.79$	OK
事務室	7.97	0.40	$1/AW: 1.640 \times 0.97 \times 1/2 = 0.79$	OK
キッチン	8.89	$34.59 / 20 = 1.73$	$3/AW: 1.640 \times 2.03 \times 1/2 \times 2.0 = 3.32$	OK
ダイニング・リビング	25.70			
居室①②	10.37	0.52	$3/AW: 1.640 \times 2.03 \times 1/2 = 1.66$	OK
居室③~⑥	10.37	0.52	$10/AW: 1.640 \times 1.17 \times 1/2 = 0.95$	OK

■ 排煙計算

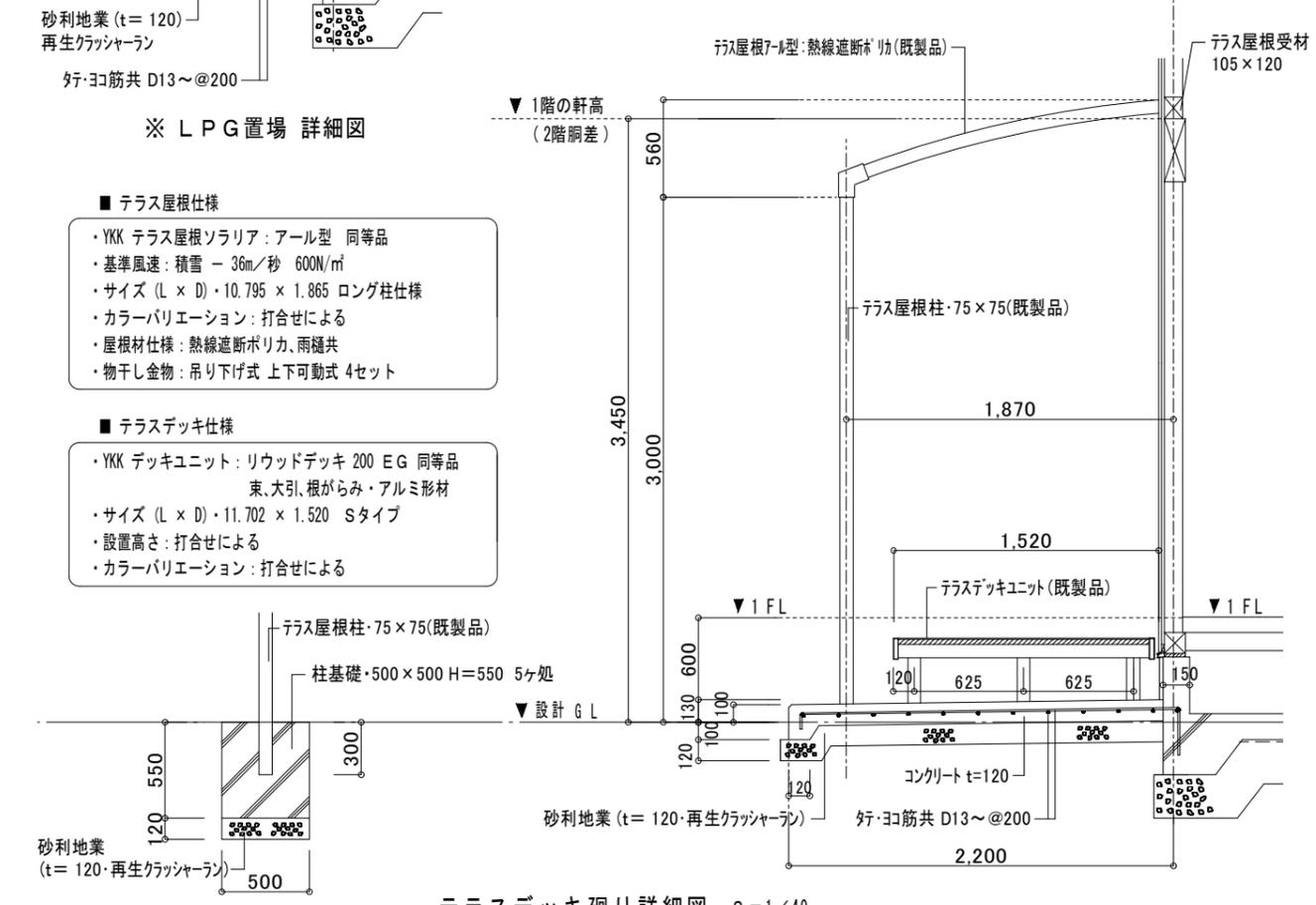
室名	床面積 (S)	必要排煙面積 $S \times 1/50$	有効排煙面積	判定
面談室	7.58	0.16	$1/AW: 1.640 \times 0.4 \times 1/2 = 0.32$	OK
事務室	7.97	0.18	$1/AW: 1.640 \times 0.4 \times 1/2 = 0.32$	OK
キッチン	8.89	$34.59 / 50 = 0.69$	$2/AW: 0.405 \times 0.38 \times 1 \times 1 = 0.15$ $3/AW: 1.640 \times 0.38 \times 2 \times 1/2 = 0.62$ 計 = 0.77	OK
ダイニング・リビング	25.70			
居室①②	10.37	0.21	$3/AW: 1.640 \times 0.38 \times 1/2 = 0.31$	OK
居室③~⑥	10.37	0.21	$10/AW: 1.640 \times 0.4 \times 1/2 = 0.32$	OK



※ LPG置場 詳細図

- テラス屋根仕様
 - ・YKK テラス屋根ソラリア：アール型 同等品
 - ・基準風速：積雪 - 36m/秒 600N/m²
 - ・サイズ (L × D) ・10.795 × 1.865 ロング柱仕様
 - ・カラーバリエーション：打合せによる
 - ・屋根材仕様：熱線遮断ポリカ、雨樋共
 - ・物干し金物：吊り下げ式 上下可動式 4セット

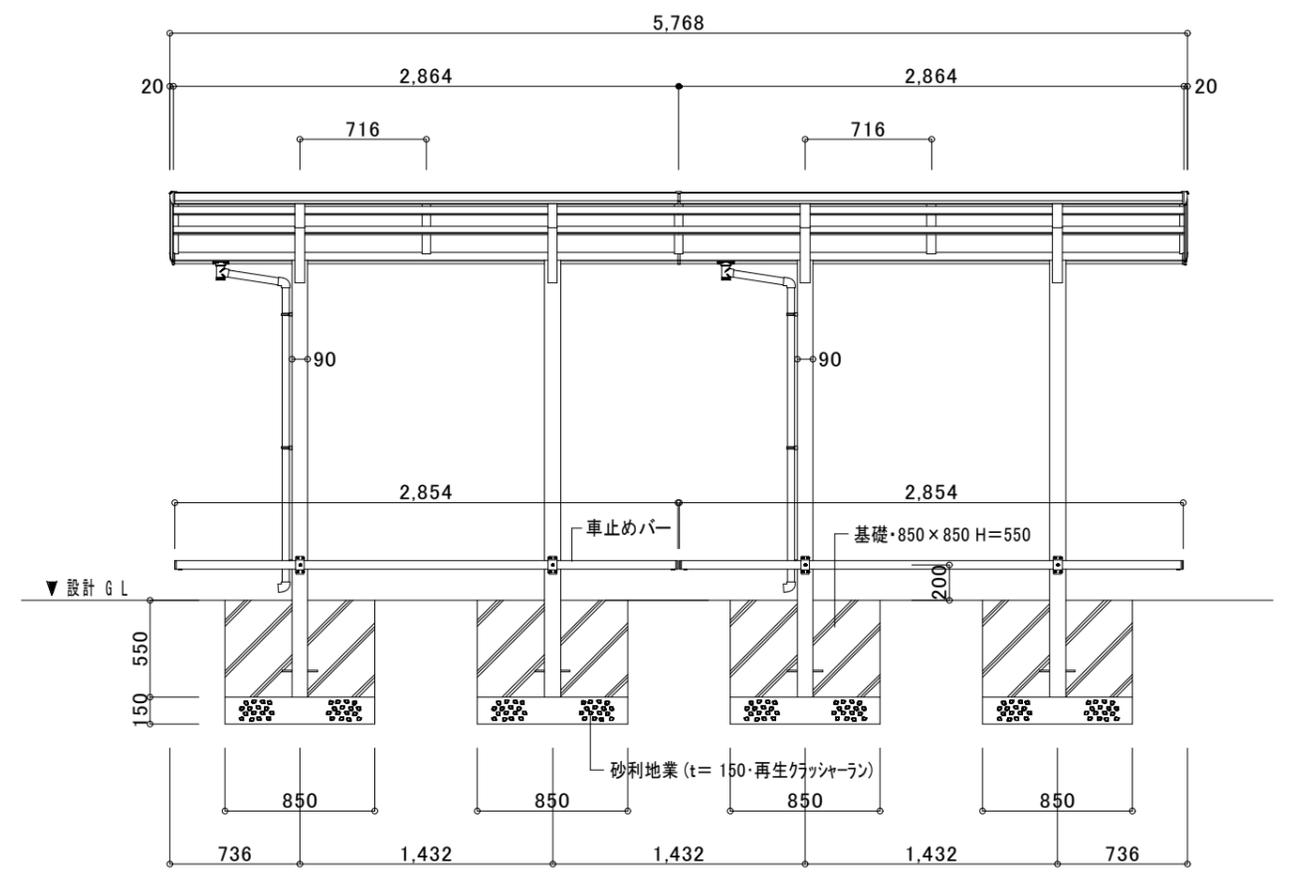
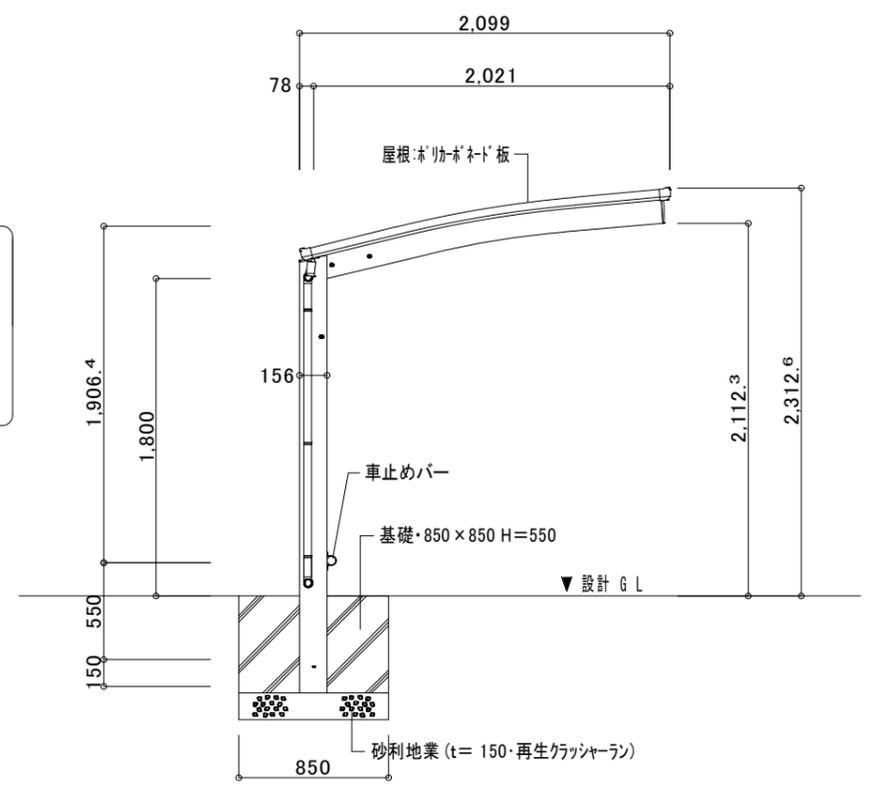
- テラスデッキ仕様
 - ・YKK デッキユニット：リウッドデッキ 200 EG 同等品
 - ・東、大引、根がらみ・アルミ形材
 - ・サイズ (L × D) ・11.702 × 1.520 Sタイプ
 - ・設置高さ：打合せによる
 - ・カラーバリエーション：打合せによる



テラスデッキ廻り詳細図 S=1/40

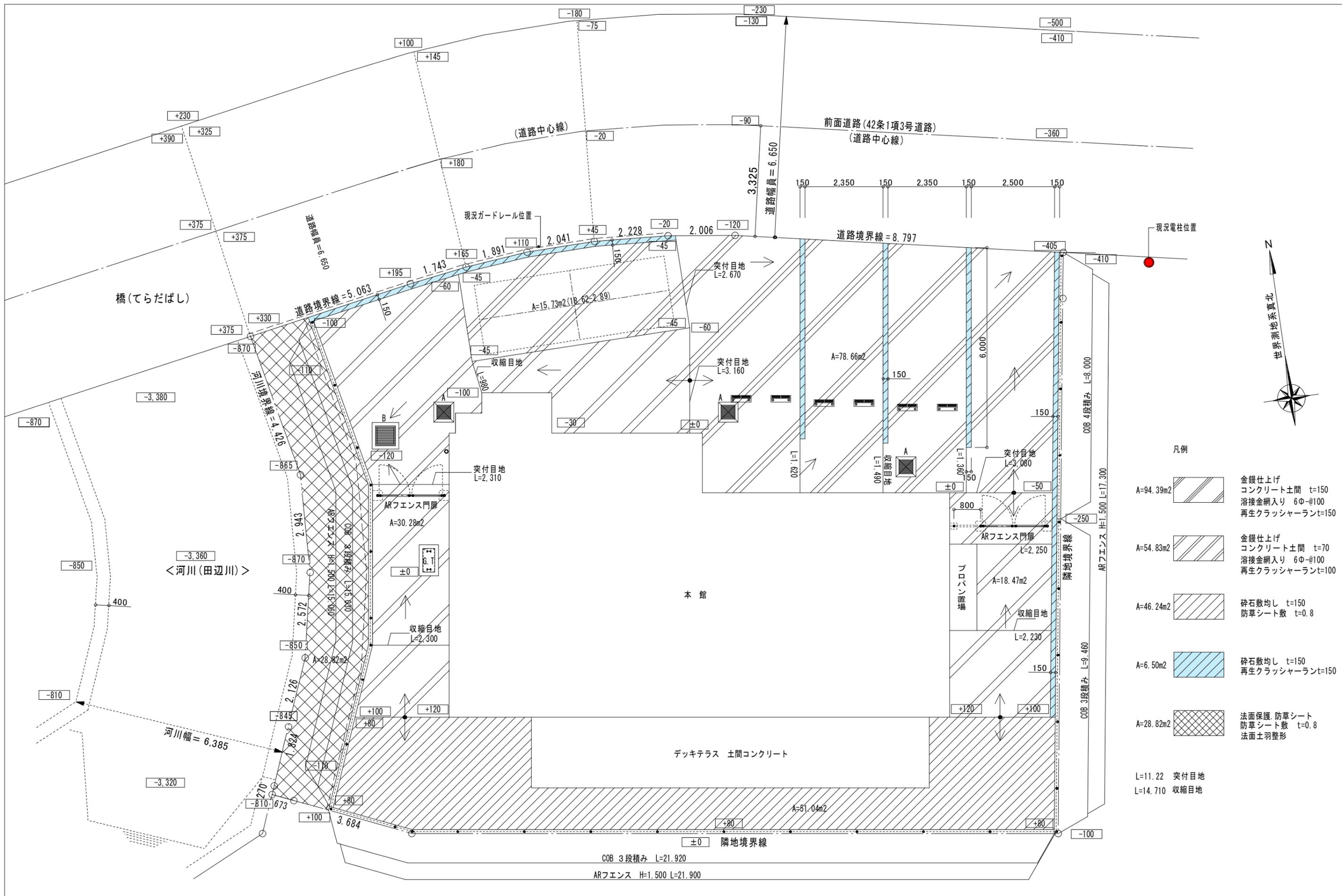
※ サイクルポート

- サイクルポート仕様
 - ・YKK サイクルポート アリュース Z ミニ 750タイプ 同等品
 - ・J 29・29 - 21
 - ・基準風速：積雪 - 38m/秒 25cm相当
 - ・サイズ (L × D) ・5.768 × 2.099
 - ・カラーバリエーション：打合せによる
 - ・屋根材仕様：ポリカーボネード板、雨樋共
 - ・その他、金物：外部コンセント、車止めバー



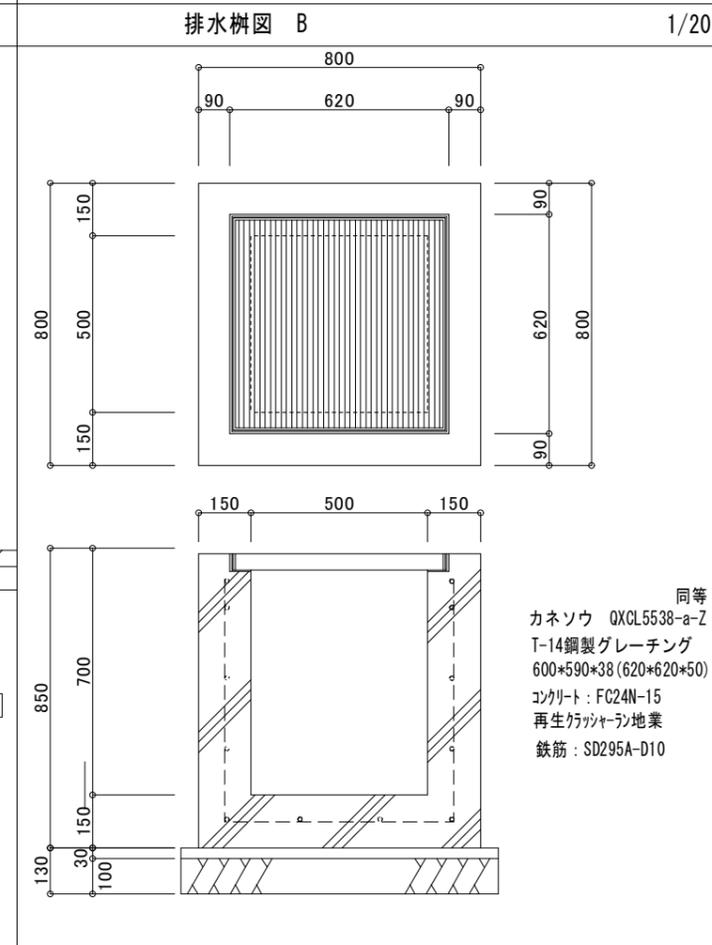
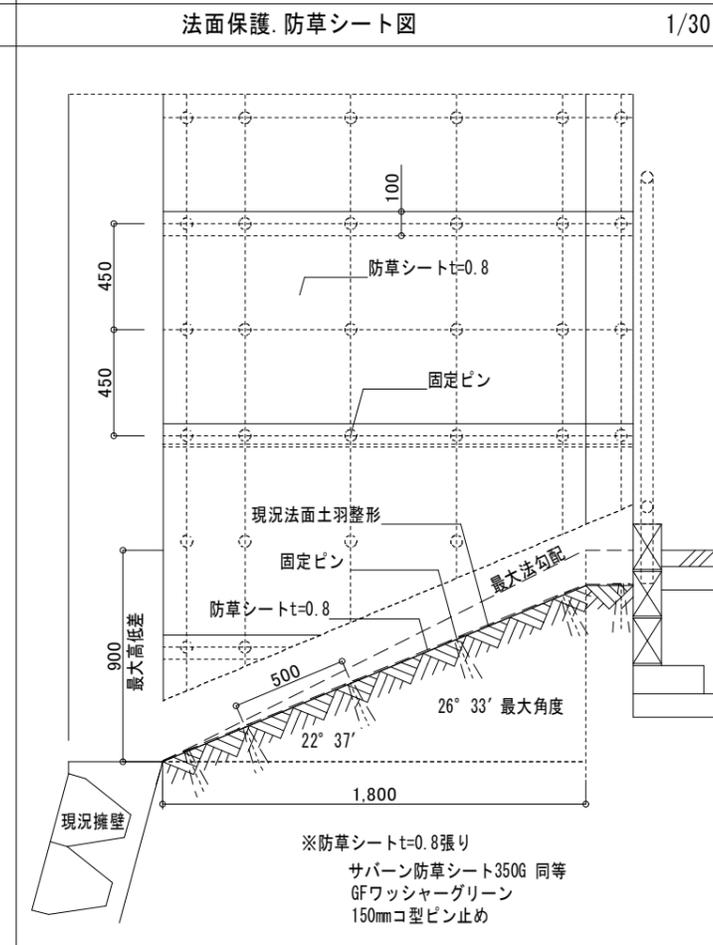
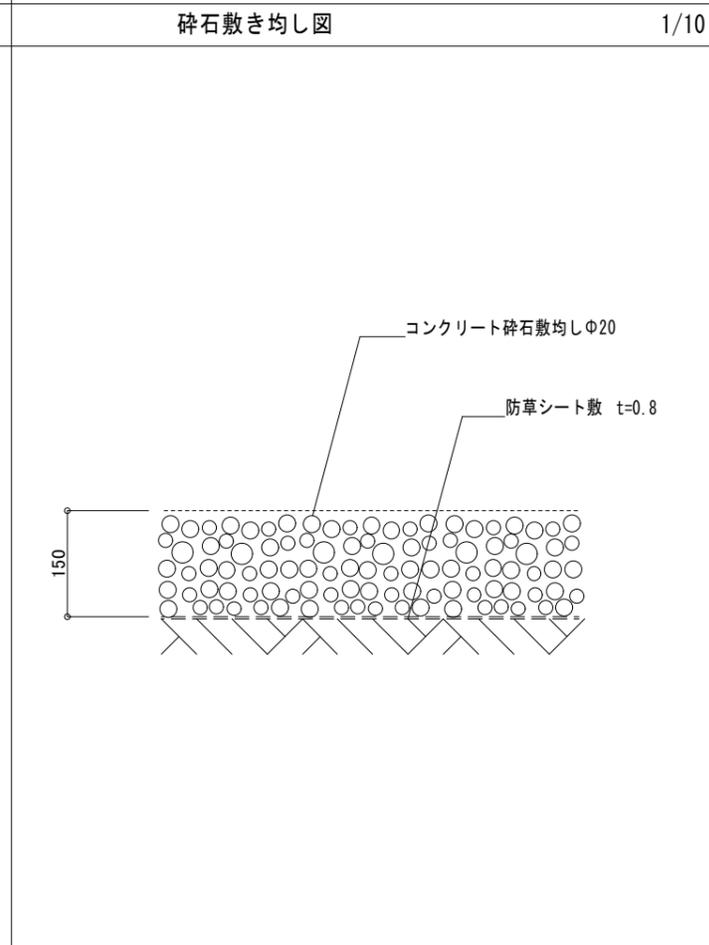
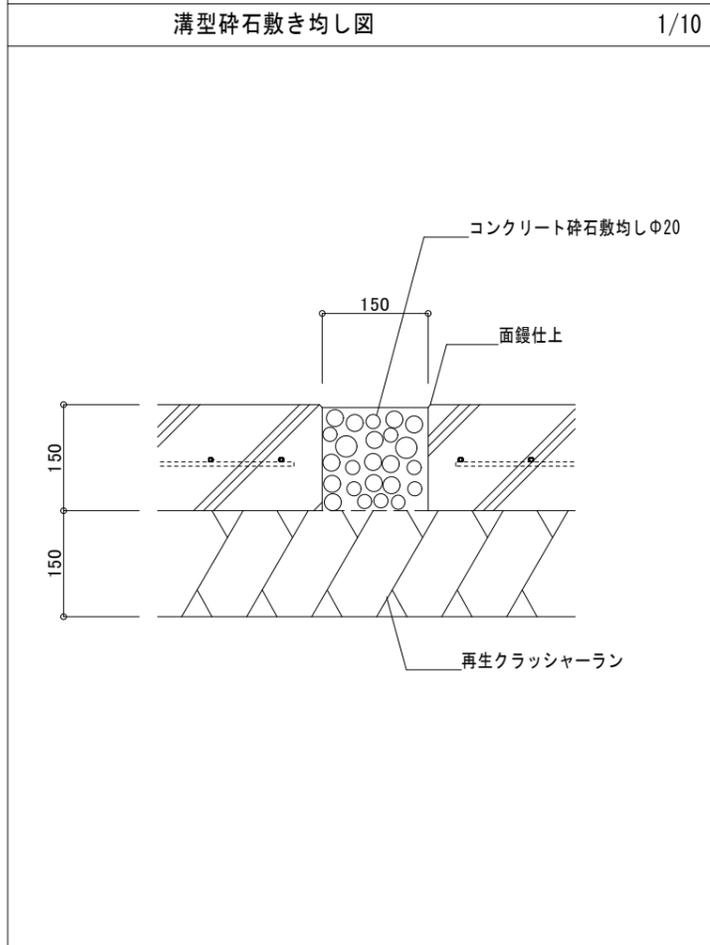
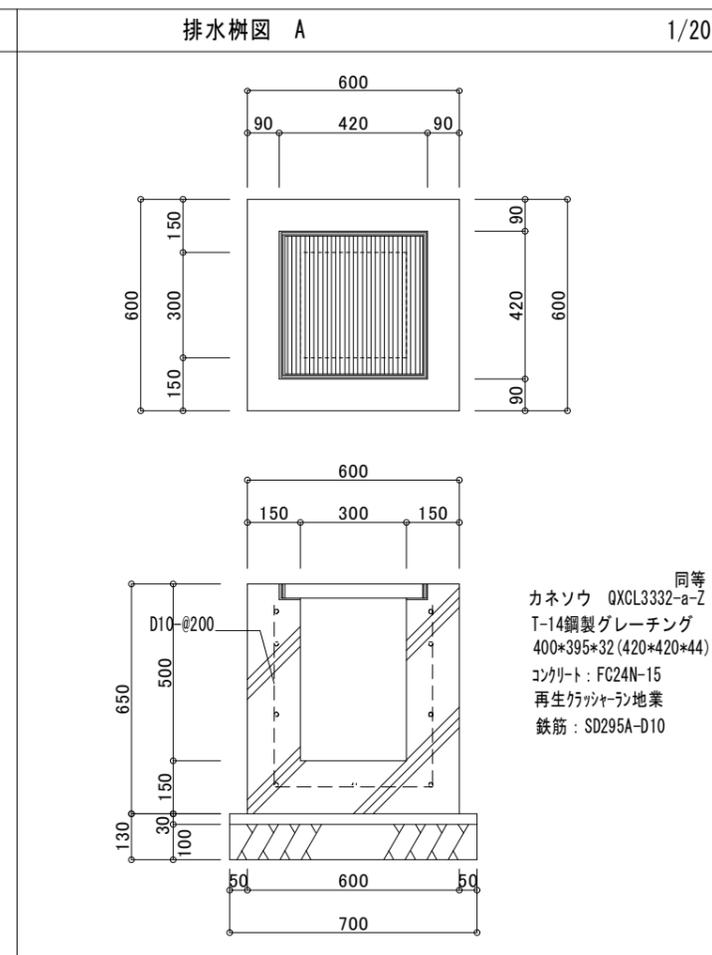
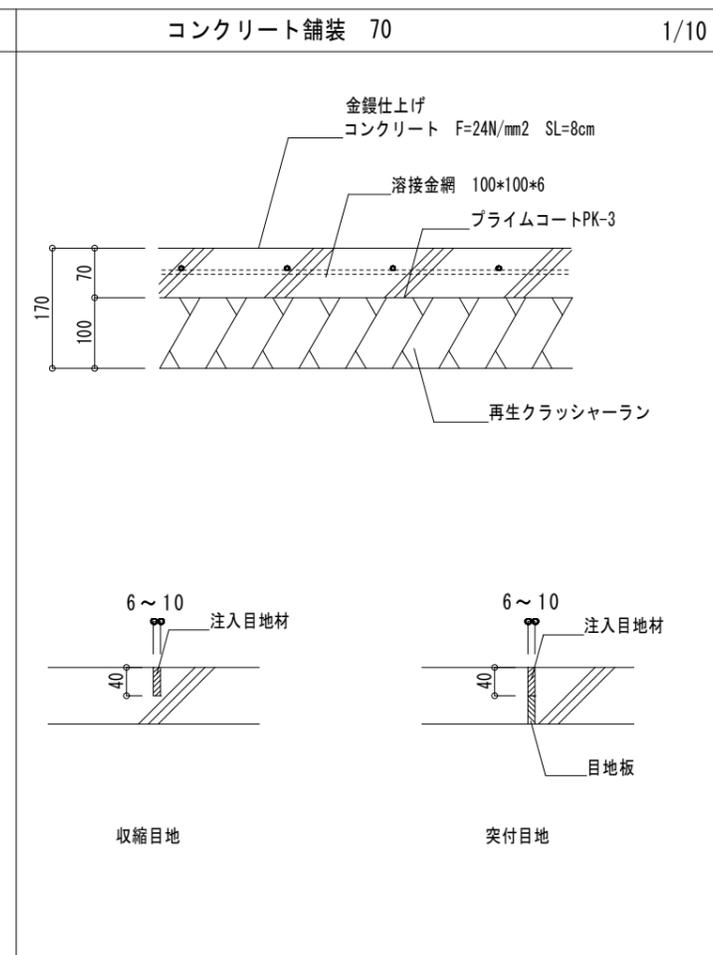
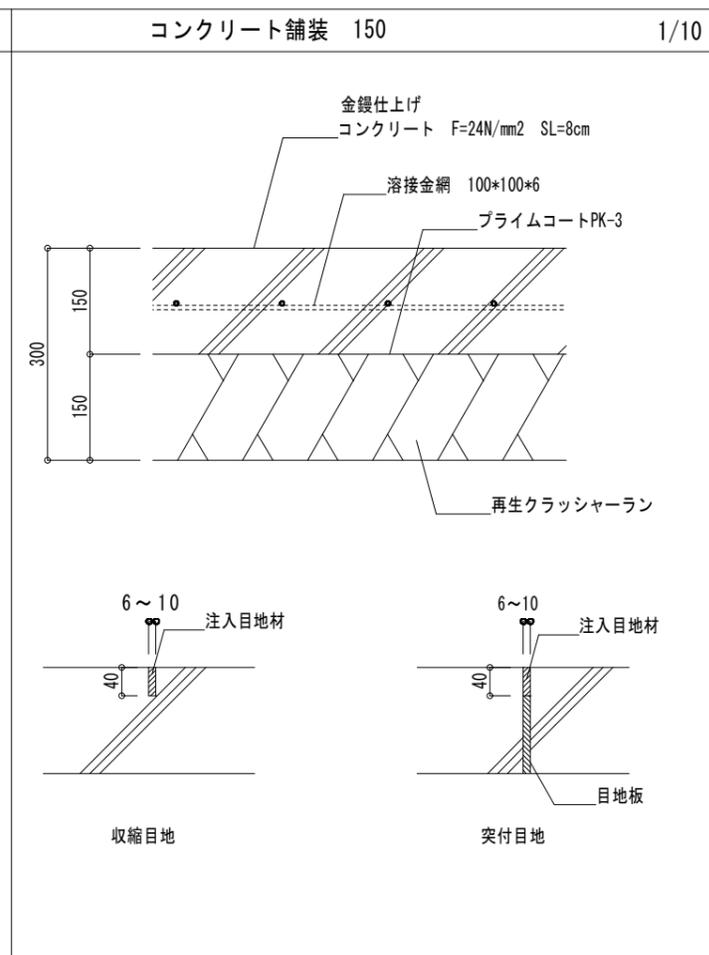
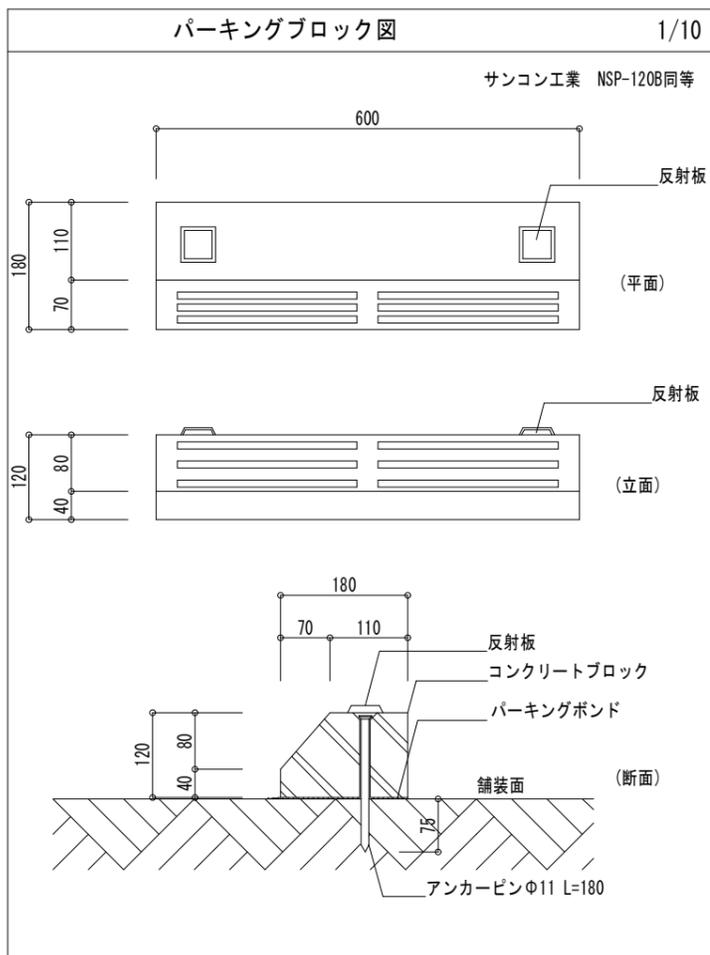
サイクルポート詳細図 S=1/40

<p>(株) 那須設計 代表取締役 那須 裕子 宮崎市松橋 1-8-1 TEL 0985 (22) 3111</p>	<p>一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 L-65 号 管理建築士 一級建築士登録 厨子 幸治 第 298693 号 設計者 一級建築士登録 厨子 幸治 第 298693 号</p>	<p>管理建築士 管理技術者 設計者</p>	<p>工事名称 青島学園地域小規模児童養護施設新築工事</p>	<p>設計年月 令和7年4月</p>	<p>検図</p>	<p>図面番号 A-46</p>
			<p>図面名称 外部・部分詳細図</p>	<p>縮尺 1/40</p>		

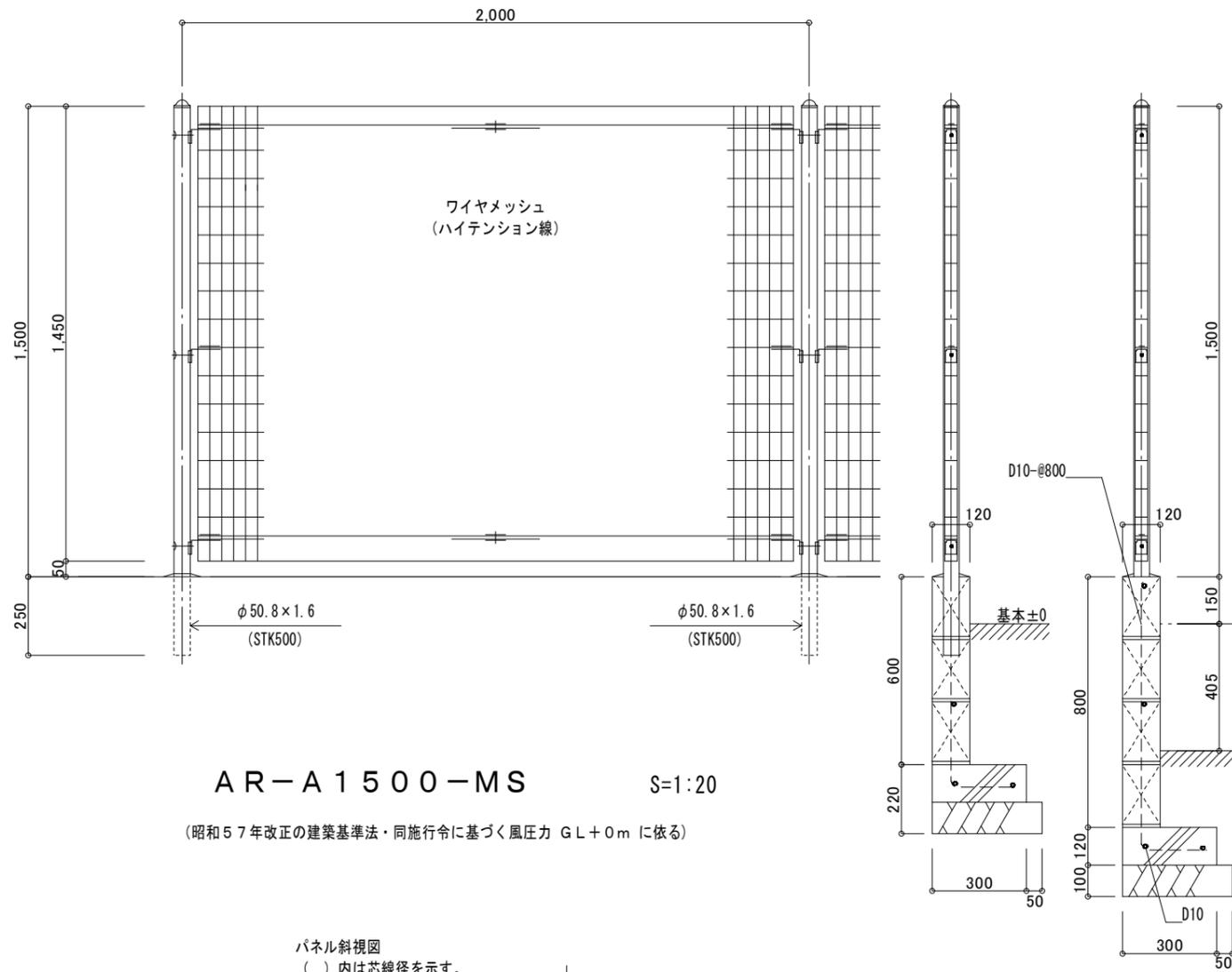


- 凡例
- A=94.39m² 金鍍仕上げ
コンクリート土間 t=150
溶接金網入り 6Φ-@100
再生クラッシャーランt=150
 - A=54.83m² 金鍍仕上げ
コンクリート土間 t=70
溶接金網入り 6Φ-@100
再生クラッシャーランt=100
 - A=46.24m² 砕石敷均し t=150
防草シート敷 t=0.8
 - A=6.50m² 砕石敷均し t=150
再生クラッシャーランt=150
 - A=28.82m² 法面保護、防草シート
防草シート敷 t=0.8
法面土羽整形
 - L=11.22 突付目地
 - L=14.710 収縮目地

<p>株 那 須 設 計 代表取締役 那須 裕子 宮崎市松橋 1-8-1 TEL 0985 (22) 3111</p>	<p>一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 L-65 号 管理建築士 一級建築士登録 厨子 幸治 第 298693 号 設計者 一級建築士登録 厨子 幸治 第 298693 号</p>	管理建築士	管理技術者	設計者	工事名称	設計年月	検 図	図面番号
					青島学園地域小規模児童養護施設新築工事	令和7年4月		
					図面名称	縮尺		
					外構図 3-1	1/100		A-47



<p>株 那 須 設 計 代表取締役 那須 裕子 宮崎市松橋 1-8-1 TEL 0985 (22) 3111</p>	<p>一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 L-65 号 管理建築士 一級建築士登録 厨子 幸治 第 298693 号 設計者 一級建築士登録 厨子 幸治 第 298693 号</p>	<p>管理建築士 管理技術者 設計者</p>	<p>工事名称 青島学園地域小規模児童養護施設新築工事</p>	<p>設計年月 令和7年4月</p>	<p>検 図</p>	<p>図面番号 A-48</p>
			<p>図面名称 外構図 3-2</p>	<p>縮尺 1/10・20・30</p>		

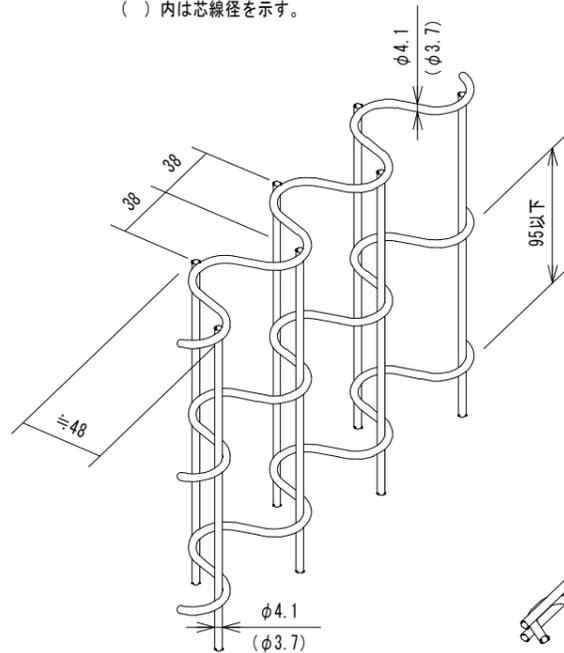


AR-A1500-MS

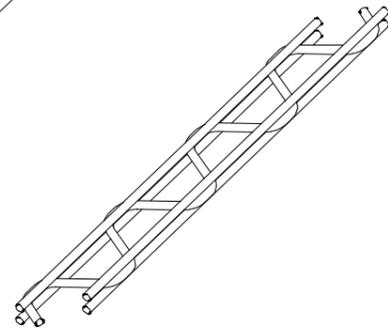
S:1:20

(昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 G L + 0 m に依る)

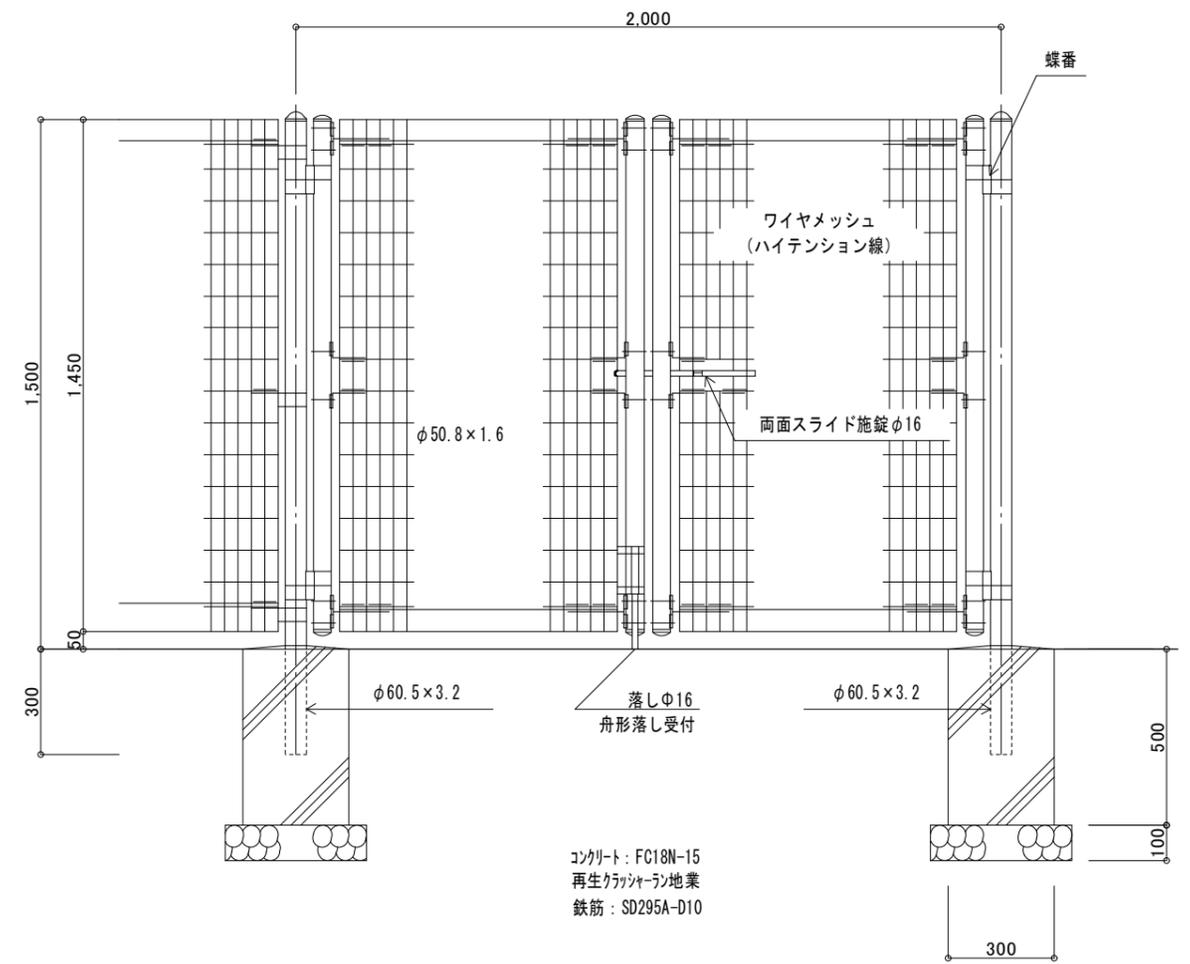
パネル斜視図
() 内は芯線径を示す。



胴縁斜視図



コンクリート: FC18N-15
再生クラッシュラン地業
鉄筋: SD295A-D10



コンクリート: FC18N-15
再生クラッシュラン地業
鉄筋: SD295A-D10



(株) 那須設計

代表取締役 那須 裕子
宮崎市松橋 1-8-1 TEL 0985 (22) 3111

一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 L-65 号
管理建築士 一級建築士登録 厨子 幸治 第 298693 号
設計者 一級建築士登録 厨子 幸治 第 298693 号

管理建築士	管理技術者	設計者

工事名称 青島学園地域小規模児童養護施設新築工事

図面名称 外構図 3-3

設計年月 令和7年4月

縮尺 1/20

検図

図面番号

A-49